

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
280	8名		ワークシート せいかつ☆☆☆

			(知及び技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	23	(知及技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能を身に付ける。 【ア-(イ)】 (思判表力) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとする。 【ア-(ア)】 (学・人) 一連の活動に自分から取り組もうとする。	(知・技) 日常生活に必要な身辺処理等に関する知識や技能が身に付いている。 (思・判・表) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣が分かり、日常生活に役立てようとしている。 (主学) 一連の活動に自分から取り組もうとしている。	基本的生活習慣 ①清潔 ②身の回りの整理 ③身なり (年間を通して)	1 簡単な洗濯をする。 2 整理整頓を行う。 3 身だしなみを整える。	国「役割をもって伝えよう」 「文をかこう」 算「しらべよう」 図「見てみよう」
	5月	26	(知及技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付ける。 【カー(イ)】 (思判表力) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとする。 【カー(ア)】 (学・人) 様々な集団活動に進んで参加し、役割を果たすことで生活を豊かにしようとする。	(知・技) 集団の中での簡単な役割を果たすための知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとしている。 (主学) 様々な集団活動に進んで参加し、役割を果たそうとする。	役割 ①共同での作業と役割分担 ・チャレンジタイム ・ピカピカタイム (年間を通して) ②ここからワーク(人との距離) ③ここからワーク(プライベートゾーン) (年間を通して) ④キャリアパスポート	1 日直、給食当番、掃除当番等の係活動をする。 2 会の運営(準備・片付けなど)簡単な作業を分担して行う。	特活「話し合いをしよう」
	6月	28	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりする。 【コー(イ)】 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現する。 【コー(ア)】 (学・人) 身近な人々や地域について意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする。	(知・技) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かる。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 地域について考えたり、関心を持って調べたりしようとしている。	社会の仕組みと公共施設 ①いろいろな店 ②社会の様子 (年間を通して)	1 いろいろな店の種類が分かり、それぞれの店の名称やそこで扱っている商品の名前が言える。 3 校外学習時の目的地までの交通機関を知る。	

	7月	24	(知及技) 身近にいる昆虫や魚、草花などの生命や自然について関心を持って調べる【サー(イ)】 (思判表力) 身近にいる昆虫や魚、草花などの特徴や変化が分かり、それらを表現しようとする。【サー(ア)】 (学・人) 身近な自然に対して自分なりの興味関心を持ち、すすんで関わろうとする。	(知・技) 身近にいる昆虫や魚、草花などについて関心を持って調べている。 (思・判・表) 身近にいる昆虫や魚、草花などの特徴や変化が分かり、それらを表現しようとしている。 (主学) 身近な自然に対して自分なりの興味関心を持ち、すすんで関わっている。	生命・自然 ①生きもののさがそう・かんさつしよう・ひみつはっけん・つたえよう ②たねをまこう・そだてよう・よく見よう・つたえよう(たねや花、実) ※季節に応じた生きものの(チョウ、おたまじゃくしなど)、植物(ひまわり、ホウセンカ、じゃがいも、トマト)	1 野外に出向き、生きものの探す。捕獲する。活動中の注意点を確認(扱い方等) 2 教室での観察、飼育・観察のポイント(色、形、大きさ等)・特徴や変態のようす(動画の活用) 3 いろいろなたねを比べる(大きさや形) 4 成長の様子を観察する(色、形、大きさ、触った感じ、花や実の数等) 5 伝え合う(写真等)	国「気づいたことを伝えよう」 「文をかこう」 図「描いてみよう・作ってみよう」 特別の教科 道徳 「自然に親しむ」
	9月	28	(知及技) 金銭の扱い方などの知識や技能を身に付ける。【ク(イ)】 (思判表力) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れる。【ク(イ)】 (学・人) 金銭の扱い方に関心をよせ、金銭を扱おうとする。	(知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能を理解している。 (思・判・表) 身近な生活の中で、金銭の価値や必要性に気づいている。 (主学) 金銭の扱い方に関心をよせ、教師の支援を受けながら考えて金銭を扱おうとしている。	金銭の扱い ①金銭の扱い(年間を通して)	1 遣い道を考えて金銭を使う。 2 自分で目的に応じた買い物をする。 3 簡単な自動販売機などを自分で利用する。	国「お店の人に聞いてみよう」 算「金銭」 「くらべてみよう」 図「描いてみよう」
	10月	28	(知及技) 修学旅行の日程、場所、活動内容について知ることができる。 (思判表力) 公共機関を使う時のルールやマナー、役割などについて考えることができる。 (学・人) 自分のことは自分でしようと取り組もうとする。	(知・技) 修学旅行の日程、場所、活動内容について理解している。 (思・判・表) 公共機関を使う時のルールやマナー、役割などについて考えている。 (主学) 自分のことは自分でしようと取り組んでいる。	社会の仕組みと公共施設 ①修学旅行・事前学習	1 日程、活動内容、公共機関を使う時のルールやマナー、係活動等について学習する。 ・しおり作成、読み合わせ。 2 入浴時に身体各部の洗い方やふき方が分かる。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」 「話し合いをしよう」 ○算 A・数量の基礎 「坂道をつくろう」 ○音 A・表現 「○まつりを楽しもう」 ○体育 G・保健 「・自分の身体」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 ケ・きまり 「マナーを守って行動しよう」 ア・基本的な生活習慣 「自分からやってみよう」
2学期	11月	29	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりする。【コー(イ)】 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現する。【コー(ア)】 (学・人) 身近な人々や地域について意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする。	(知・技) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かる。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 地域について考えたり、関心を持って調べたりしようとしている。	社会の仕組みと公共施設 ①いろいろな店 ②社会の様子(年間を通して)	1 学校近隣にある店に関心をもつ。 2 公共施設を利用する。 3 目的地的に行くための交通機関を知る。	

	1 2 月	24	(知及技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身につける。【キー (イ)】 (思判表力) 日常生活の手伝いや仕事をすすんでしようとする。【キー (ア)】 (学・人) 意欲や自信を持ってすすんで手伝おうとし、生活を豊かにしようとする。	(知・技) 手伝いや仕事をするための知識や技能を身につけている。 (思・判・表) 日常生活の手伝いや仕事をすすんでしようとしている。 (主学) 意欲や自信を持ってすすんで手伝おうとし、生活を豊かにしようとしている。	手伝い・仕事 ①ホットケーキやピザトーストを作る ②わたしのお弁当	1 材料の準備、手順の確認、道具や器具の扱い方、作業分担 2 調理活動 3 会食 4 後片付け 5 朝ご飯や弁当のメニューを考えよう	国 言語活動 (材料名、道具名、活動を表す動詞、ようすを表すことばなど)、「さつまいも」「つたえよう」算「数と計算」「測定」
3 学期	1 月	24	(知及技) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設などを知ったり、活用したりする。【コー (イ)】 (思判表力) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現する。【コー (ア)】 (学・人) 地域について意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする。	(知・技) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かる。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある社会の仕組みや公共施設が分かり、それらを表現している。 (主学) 地域について考えたり、関心を持って調べたりしようとしている。	社会の仕組みと公共施設 ①公共施設の利用 ②交通機関の利用 (年間を通して)	1 公共施設 (消防署等) を訪問したり、見学したりして、その仕事の様子をを知る。 2 目的地に行くための交通機関を知る。	
	2 月	23	(知及技) ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べる。【シー (イ)】 (思判表力) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現する。【シー (ア)】 (学・人) ものの仕組みや働きについて、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする。	(知・技) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かる。 (思・判・表) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、考えてそれらを表現している。 (主学) 自分で考えて、ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べたり表現しようとしている。	ものの仕組みと働き ①物の重さ (年間を通して)	1 物は形が変わっても重さは変わらないことに気付く。 2 風やゴムの大きさを変えると、物が動く様子も変わること気付く。	国「図書室へ行ってみよう」算「くらべてみよう」「かき」をはかろう」図「作ってみよう～動くおもちゃ～」
	3 月	23	(知及技) きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身につける。【エー (イ)】 (思判表力) 日常生活の遊びで、友達と関わりをもち、きまりを守ったり遊びを工夫したり発展させたりして、仲良く遊ぼうとする。【エー (ア)】 (学・人) きまりを守ることの意義を考え、色々な遊びを通して生活を豊かにしようとする。	(知・技) きまりのある遊びや友達と仲良く遊ぶことなどの知識や技能を身につけている。 (思・判・表) 日常生活の遊びで、友達と関わりをもち、きまりを守ったり遊びを工夫したり発展させたりして、仲良く遊ぼうとしている。 (主学) きまりを守ることの意義を考え、色々な遊びを通して生活を豊かにしようとしている。	遊び 1 なにして遊ぶ？ 2 ルールをまもってあそぼう 3 あそびおわったら 4 もっとたのしくできるかな (年間を通して)	1 遊び (活動例: 的当て遊び) の挿絵を見て、遊びのきまりや工夫について考える。 2 上記学習を参考に、今までしたことのある遊びや、これからしてみたい遊びについて内容やルールについて話し合いをし、協力して遊びをつくる。 3 経験した遊びを振り返って遊びの工夫を考え、考えた工夫を取り入れてさらに遊ぶようにする。	生活「けきまり」特活「お楽しみ会」体育「ボールを使った運動やゲーム」
留意点 引継等		・単元内容によって教科書 (生活☆☆☆) を使用する。					
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
175	8名		こくご☆☆☆

年間目標	(知及び技) 知識及び技能		日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に触れ、親しむことができる。(小知的3段階)				
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		出来事の順序を思い出す力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりすることができるようにする。(小知的3段階)				
			言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする態度を養う。(小知的3段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	14	(知及び技) 姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (3段階アー(イ)) 正しい姿勢で音読することができる。(3段階アー(イ)) (思判表力) 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすることができる。(3段階Aーエ) 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けて表現することができる。(3段階Aーオ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技) 姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 正しい姿勢で音読しようとしている。 (思・判・表) 相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫しようとしている。 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けて表現しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	役割をもって伝えよう ・かんげいかい	・歓迎会をすすめるにあたって必要な事柄を話し合う。 ・役割に応じて話す順番などを検討し、相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「10といくつ」 音楽 「盛り上がりを感じて歌おう」 特別の教科 道徳 「挨拶の相手」 特別活動 「学年・学級開き」
	5月	14	(知及び技) 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。(3段階アー(エ)) 筆記用具の正しい持ち方や書くときの正しい姿勢を理解して、片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書くことができる。(3段階アー(ウ)) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。(3段階ウー(ウ)) ④) (思判表力) 書いた語句や文を読み、間違いに気付くことができる。(3段階Bーエ) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技) 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとしている。 姿勢や筆記用具の持ち方を正しくし、片仮名や片仮名の文字の形に注意しながら丁寧に書こうとしている。 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、片仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思・判・表) 書いた語句や文を読み、間違いに気付こうとしている。 (主学) 言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・書いてみよう カタカナをかこう かん字をよもうかこう	・五十音一覧表から読みと対応する平仮名や片仮名を探したり、片仮名カードを並べたりして単語を構成する。 ・書くときの姿勢、筆記用具の持ち方を正しくし、片仮名、簡単な漢字の文字の形に注意しながら丁寧に書く。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「位置を表す言葉」 音楽 「季節の歌を歌おう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「よさを伸ばす」 特別活動 「修学旅行」

Ⅰ 学 期	6月	14	(知及技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (3段階アー(ウ)) (思判表力)挨拶や電話の受け答えなど、状況やその場に応じて決まった言い方を使うことができる。(3段階Cーウ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (思・判・表)挨拶や電話の受け答えなど、状況やその場に応じて決まった言い方を使うことができる。(3段階Cーウ) (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	お店やさんでのやりとり ・かいもの ※平和学習	・買い物をする場面を想起し、挿し絵などを見ながらロールプレイングして、相手に伝わりやすい話し方やメモを活用した受け答えをする。	生活 「お金の使い方を考えよう」 算数 「かいものをしましよう」 特別の教科 道徳 「物を大切に」 特別活動 「2学期頑張った会」
	6月	14	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (思判表力)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりすることができる。 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。 (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるように発音や声の大きさ、速さに気を付けて話したり、必要な話し方を工夫したりしようとしている。 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	電話の相手と話をしよう ・でんわ	相手への伝わりやすさや声の大きさを考え、目の前にいない人への電話の受け答えをする。	生活 「お金の使い方を考えよう」 算数 「かいものをしましよう」 特別の教科 道徳 「物を大切に」 特別活動 「1学期頑張った会」
	7月	14	(知及技)物事のはじめと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。(3段階イー(ア)) (思判表力)見聞きしたことなどのあらまじや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりすることができる。(3段階Aーウ) 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階Cーイ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知・技)物事のはじめと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思判表力)見聞きしたことなどのあらまじや自分の気持ちなどについて思いついたり、考えたりしようとしている。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・説明文を読もう さつまいも	・畑で作業をしたさつまいもについての文章の場面を4段落に分け、時間的経過を追いつながり前後関係を文字カードで並び替え大体を捉える。	生活 「安全について考えてみよう」 算数 「くらべてみよう」 特別の教科 道徳 「楽しく働く」 特別活動 「ネットやスマホの付き合い方」
	9月	14	(知及技)図書を用いた調べ方を理解し使うことができる。(3段階イー(イ)) 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることがわかる。(3段階ウー(エ)) (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。(3段階Cーイ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。(3段階)	(知及技)図書を用いた調べ方を理解し使おうとしている。 読み聞かせなどに親しみ、いろいろな絵本や図鑑があることがわかる。 (思判表力)絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・図書室に行ってみよう 本をさがそう ※読書月間	・図書室に行き、興味をもった乗り物等を調べるために必要な本を自分で探してみる。 ・教師の読み聞かせを聞く。	生活 「安全について考えてみよう」 算数 「身近なかたち」 特別の教科 道徳 「友達と仲よく」 特別活動 「交流会をしよう」

2 学 期	10月	14	（知及技）身近な人との会話や読みかせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付く。（3段階ア-（ア）） 姿勢や口形に気を付けて話することができる。（3段階ア-（イ）） （思判表力）見聞きしたことのなどのあらましや自分の気持ちのなどについて思いいたり考えたりすることができる。（3段階A-（ウ）） 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。（3段階A-（カ）） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。（3段階）	（知・技）身近な人との会話や読みかせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付こうとしている。 姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 （思判表力）見聞きしたことのなどのあらましや自分の気持ちのなどについて思いいたり考えたりしようとしている。 相手の話に関心を持ち、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりしようとしている。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・話し合いをしよう たのしかったしゅうがくりよう	・体験したことを振り返り、思い浮かべたことを言葉や身振り等で表現したり発表したりする。 ・写真やタブレット端末を活用し思いを表現したり振り返ったりすることができるようにする。 ・修学旅行のしおり作成 ・司会や発表の練習	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「位置を表す言葉」 音楽 「季節の歌を歌おう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「よさを伸ばす」 特別活動 「修学旅行」
	10月	14	（知及技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により、意味が変わることがわかる。（3段階ア-（オ）） 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。（3段階ウ-（イ）） （思判表力）身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見つけ、その題材に必要な事柄を集めたり、伝えたい順序を考えたりすることができる。（あ3段階B-ア・イ） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようすることができる。（3段階）	（知・技）文の中における主語と述語との関係や助詞の使い方により意味が変わることに気付く。 出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れようとする。 （思・判・表）身近で見聞きしたり経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めたり、伝えたい順序を考える。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	推敲して発表しよう ・えにっきをかこう ・手紙	絵日記のテーマを決めて準備し、時系列に記入して推敲、発表の流れに沿って取り組み、伝えたい事柄の順番を考え、絵日記を書く。 ・身近な生活の中で手紙を書く場面を考え、手紙に書く内容や具体的な書き方を考えて書く。	生活 「地域について調べよう」 算数 「絵や表にして計算しよう」 音楽 「ドレミファソの音で遊ぼう」 図画工作 「作ってみよう」 外国語活動 「きみはだれ？」 特別の教科 道徳 「自然に親しむ」
	11月	14	（知及技）昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムがわかる。（3段階ウ-（ア）） （思判表力）絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ることができる。（3段階A-ア） 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像することができる。（3段階c-ア） 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えることができる。（3段階C-イ） （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりすることができる。（3段階）	（知・技）昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、言葉の響きやリズムに気付く。 （思・判・表）絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取っている。 絵本や易しい読み物などを読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子などを想像している。 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 （主学）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	・お話を読む ブレーメンの町のおはなし ※舞台発表会練習 ※修学旅行事後学習	・挿絵を手がかりに、登場人物の行動や場面の様子を想像して時間の経過を考える。 ・児童が興味を持った場面を繰り返し読むことで言葉の響きやリズムに親しんだり読むことに興味を持ったりできるようにする。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「記録しよう」 特別の教科 道徳 「世界の国々」 特別活動 「お楽しみ会を計画しよう」

	12月	13	(知及技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方がわかる。 (3段階ア-(ウ)) 言葉には意味による語句のまとまりがあることがわかる。 (3段階ア-(エ)) (思・判・表)登場人物になったつもりで音読したり演じたりすることができる。 (3段階C-エ) (主学)言葉がもつよさを感じるとともに読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	(知・技)日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮名、片仮名、漢字の正しい読み方に気付く。 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。 (思・判・表)登場人物になったつもりで音読したり演じたりしようとする。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする。	・カタカナのリズムを感じよう パーティーをしよう ※舞台発表会練習	教師の読み聞かせを聞いて気付いたことを発表する。 ・動物毎に分担して読んだり表現を工夫しながら登場人物になったつもりで音読したりする。	算数 「しらべよう」 特別の教科 道徳 「よいことをすすんで」 特別活動 「学年紹介」
3 学 期	1月	12	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話すことができる。 (3段階ア-(イ)) (思・判・表)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。(3段階A-オ) 登場人物になったつもりで音読したり演じたりすることができる。(3段階C-エ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。 (3段階)	(知・技)姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 登場人物になったつもりで読したり演じたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・演じてみよう さんびきのこぶた	・読み聞かせを聞いて、登場人物になったつもりで場面ごとや全体を通して演じる。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「形をつくろう」 図画工作 「描いてみよう」 体育 「ダンス」 特別の教科 道徳 「友達の気持ちになつて」
	2月	12	(知及技)姿勢や口形に気を付けて話することができる。 (3段階ア-(イ)) (思・判・表)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けることができる。(3段階A-オ) 登場人物になったつもりで音読したり演じたりすることができる。(3段階C-エ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。 (3段階)	(知・技)姿勢や口形に気を付けて話そうとしている。 (思・判・表)相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けようとしている。 登場人物になったつもりで音読したり演じたりしようとしている。 (主学)言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。	・演じてみよう さんびきのこぶた	・読み聞かせを聞いて、登場人物になったつもりで場面ごとや全体を通して演じる。	生活 「生き物や自然の特徴を知ろう」 算数 「形をつくろう」 図画工作 「描いてみよう」 体育 「ダンス」 特別の教科 道徳 「友達の気持ちになつて」
	3月	12	(知及技)物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解することができる。(3段階イ-(ア)) (思判表力)登場人物になったつもりで、音読したり演じたりすることができる。(3段階C-エ) (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりする。 (3段階)	(知及技)物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解しようとする。 (思判表力)登場人物になったつもりで、音読したり演じようとする。 (学・人)言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとしている。	げきをしよう ・ペブサートをつくろう	・自分に必要な道具をそろえて、お話をイメージしながらペブサートを作成し、登場人物になったつもりで相手に伝わるように演じる。	生活 「地域について調べよう」 算数 「絵や表にして計算しよう」 音楽 「ドレミファソの音で遊ぼう」 図画工作 「作ってみよう」 外国語活動 「きみはだれ？」 特別の教科 道徳 「自然に親しむ」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
140	8名		さんすう ☆☆☆

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小知的3段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに 現力等 気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小知的3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性等	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小知的1～3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断 的視点他教科との関連
	4月	10	(知及技) 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解することができる。(アイ (ア) ア) ・加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。(アイ (ア) イ) ・1位数と1位数との加法の計算ができる。(アイ (ア) ウ) (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。(アイ (イ) ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	(知・技) 加法が用いられる合併や増加等の場合について理解している。 ・加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・1位数と1位数との加法の計算ができています。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P32 ・あわせていくつ ☆☆☆本P34 ・ふえるといくつ ☆☆☆本P36 ・しきをつくりましょう (たしざん) ☆☆☆本P37 ・けいさんしましょう (10までのかずのたしざん)	・金魚をドットやブロック等に置き換えて、動き(矢印の方向)と言葉(合わせて、みんなで、全部で)を結びつけながら「合併」について理解させる。 ・「増える」「来る」「入れる」等といった言葉を用いながら矢印の方向に具体物を操作し「増加」のイメージを理解できるようにする。 ・「+」「=」の記号を用いて、加法の場面を式に表す。 ・1位数と1位数との繰り上がりのない加法計算の仕方を学習する。	
I 学期	5月	12	(知及技) 加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。(アイ (ア) イ) ・1位数と1位数との加法の計算ができる。(アイ (ア) ウ) ・1位数と2位数との和が20までの加法の計算ができる。(アイ (ア) エ) (思判表力) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。(アイ (イ) ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	(知・技) 加法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・1位数と1位数との加法の計算ができています。 ・1位数と2位数との和が20までの加法の計算ができています。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P38 ・20までのかずのたしざん① ☆☆☆本P40 ・20までのかずのたしざん② ☆☆☆本P41 ・けいさんしましょう (20までのかずのたしざん)	・①では、ブロックやおはじき、数え棒などに置き換え操作する。加数あるいは被加数を分解して10のまとまりを作り計算する。 ・②では、問題文を読んで、加法であることを理解する。「十の部屋」と「一の部屋」にブロックを分けて置き、数字と対応させながら「部屋」ごとに足すことを視覚的に考えられるようにする。 ・問題文を読んで式を立てて計算する。加法の式を読んで、加法が用いられる具体的な場面を表す。	体育「ボールを使った運動やゲーム」

6月	16	（知及技）減法が用いられる求残や減少等の場合について理解することができる。（アイ（ア）オ） ・減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。（アイ（ア）カ） ・20までの数の範囲で減法の計算ができる。（アイ（ア）キ） （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。（アイ（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	（知・技）減法が用いられる求残や減少等の場合について理解している。 ・減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・20までの数の範囲で減法の計算ができる。 （思・判・表）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P42 ・のこりはいくつ①② ☆☆☆本P45 ・ちがいはいくつ ☆☆☆本P46 ・しきをつくりましょう（ひきざん） ☆☆☆本P47 ・けいさんしましょう（ひきざん）	・具体物や半具体物を用い、もとの数量から「取り去る」「減らす」操作を通して「減少」の事実と結びつける。「残り」を視覚的に捉える。 ・具体的な操作をとおして二つの数の「どちらが」「いくつ」多いか少ないかの違い（差）に着目したり、用語を使ったりする。 ・「－」「＝」の記号を用いて引き算の場面を式に表す。 ・10までの数の範囲で繰り下がりのない減法の計算の仕方を学習する。減法の式を読んで、減法が用いられる具体的な場面を表す。	体育「ボールを使った運動やゲーム」
7月	11	（知及技）減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。（アイ（ア）カ） ・20までの数の範囲で減法の計算ができる。（アイ（ア）キ） （思判表力）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりすることができる。（アイ（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	（知・技）減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 ・20までの数の範囲で減法の計算ができる。 （思・判・表）日常の事象における数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を見付け出したり、学習や生活で生かしたりしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P48 ・20までのかずのけいざん ☆☆☆本P49 ・しきをつかってけいざんしましょう まとめ	・問題文を読んで、引き算であることを理解する。繰り下がりのない2位数－1位数を計算する方法について考える。1位数同士の減法と同じ考え方を用いて計算できることを学習する。 ・2数に違いがあることに気付き減法によって、その差を求められることを理解できるようにする。 ・まとめとして、加法、減法の計算演習を行う。	
9月	16	（知及技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えることができる。（Ｂア（ア）ア㉞） ・具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（Ｂア（ア）ア㉟） （思判表力）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したりすることができる。（Ｂア（イ）㉞） ・身の回りにあるものの形を図形として捉えることができる。（Ｂア（イ）㉟） ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。（Ｂア（イ）㉞） （学・人）身近にあるものの形に関心をもち、形を組み合わせることで違う形の物を作ることができる。	（知・技）ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えている。 ・具体物を用いて形を作ったり分解したりしている。 （思・判・表）身の回りにあるものから、いろいろな形を見付けたり、具体物を用いて形を作ったり分解したり工夫している。 ・身の回りにあるものの形を図形として考えている。 ・身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を考えている。 （主学）身近にあるものの形に関心をもち、形を組み合わせることで違う形の物を作ろうとしている。	○形をつくろう ☆☆☆本P51～52 ・いろいろなかたち（しかく）をつくってみましょう①② ☆☆☆本P53 ・いろいろなかたち（さんかく）をつくってみましょう ☆☆☆本P54～55 ・かたちづくり	※児童の実態に応じて、いろいろなかたち（しかく、さんかく）の復習を行う。 ・マグネットバーや割り箸など、曲がらない棒3～4本で三角四角作りを行う。 ・教科書の挿絵を参考に、折り紙や画用紙などを使用し、ヘリを重ねて折って正方形と長方形の形の違いを確認する。 ・身の回りのものを正方形と長方形に分類する。 ・差書くの色板を並べて、提示された形や好きな形を作る。 ・面の大きさに合わせた色画用紙を箱に貼り、カラフルな箱を作る。（面によって画用紙の色を変える）	

2 学 期	10月	15	(知及技) 前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表すことができる。(Bア(ア)ア) ・傾斜をつくと角ができることを理解すること。(Bイ(ア)ア⑦) (思判表力) 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりすることができる。(Bア(イ)⑨) ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現することができる。(Bイ(イ)⑦) (学・人) 傾斜と角の関係に関心をもち、いろいろな坂道を作ることができる。	(知・技) 前後、左右、上下などの方向や位置に関する言葉を用いて、ものの位置を表している。 ・傾斜をつくと角ができることを理解している。 (思・判・表) 身の回りにあるものの形の観察などをして、ものの形を認識したり、形の特徴を捉えたりしている。 ・傾斜が変化したときの斜面と底面の作り出す開き具合について、大きい・小さいと表現している。 (主学) 傾斜と角の関係に関心をもち、いろいろな坂道を作ろうと取り組んでいる。	○位置を表す言葉 ☆☆☆本P58～59 ・まえとうしろ② ☆☆☆本P62～63 ・中とそと ○坂道をつくろう ☆☆☆本P66～67 ・いろいろな大きさのかく①②	・児童と教師で並んで、誰かを基準にした前後を確認する。 ・順番待ちをする機会を設け、前後の確認や順序数を用いた表現も確認する。 ・教科書の挿絵を参考に、男の子や女の子のいる場所を「中、外」と表すような発問をする。 ・命令ゲームで「○○の中に入ってください」などと言って体験的に理解を促す。 ・袋などの小さいものの「中」から、教室などの大きいものの「中」へ対象を広げていく。	
	11月	15	(知及技) 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較することができる。(C測定ア(ア)ア) ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較することができる。(Cア(ア)イ) (思判表力) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりすることができる。(Cア(イ)ア) (学・人) 身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしていく。	(知・技) 長さ、広さ、かさなどの量を直接比べる方法について理解し、比較している。 ・身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比較している。 (思・判・表) 身の回りのものの長さ、広さ及びかさについて、その単位に着目して大小を比較したり、表現したりしている。 (主学) 身の回りにある長さや体積などの属性に着目した二つの量の比べ方に気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	くらべてみよう ☆☆☆P76 ・かさをくらべましょう ☆☆☆P77 ・ふとさをくらべましょう ☆☆☆P78～79 ・ひろい、せまいとおい、ちかい	・同じ形状、大きさのビンやコップに入った水の量を比較する。 ・形の違う水筒、ペットボトル、やかんや鍋の水を同じ形状、大きさのコップに移し替え、水の量を数値化して比べる。 ・校庭にある木を一人や何人かで抱えたり、周の長さを見たりしながら、太さを感じる。 ・野菜を切り断面を比べる。 ・広いシートと狭いシートを広げて広さを比べる。 ・自分のいる位置からの距離について基準を設けて「遠い」「近い」を考える。	
	12月	12	(知及技) 日常生活の中で時刻を読むことができる。(C測定イ(ア)ア) ・時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係を理解することができる。(Cイ(ア)イ) (思判表力) 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現することができる。(Cイ(イ)ア) (学・人) 時刻と生活の結び付きに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしていく。	(知・技) 日常生活の中で時刻を読むといっている。 ・時間の単位(日、午前、午後、時、分)について知り、それらの関係を理解している。 (思・判・表) 時刻の読み方を日常生活に生かして、時刻と生活とを結び付けて表現している。 (主学) 時刻と生活の結び付きに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	時計の読み方 ☆☆☆P82～83 ・とけい(ながいはり) ☆☆☆P84 ・とけい(みじかいはり) ☆☆☆P85 ・とけい(なんじでしよう) ☆☆☆P86～87 ・とけい(ごぜん、ごご)	・長針の動きを知り10分刻みの時刻を読む。 ・短針の動きを知り〇時を読み取る。 ・長針と短針の位置から時間を読む学習を繰り返す。 ・言われた時刻を示すイラストや写真を探し当てる。 ・模型の時計を操作しながら、考えたり、確かめたりする。 ・正時を表すときの長針と短針を書き入れる。 ・具体的な場面と結び付けながら、正午を基準とする区別を理解する。 ・「午前」「午後」の言い回しに慣れる。 ・学校の活動を取り上げ、午前と午後の活動を明確に区別する。 ・午前と午後を意識して、時刻を表現する。	

3 学 期	1 月	15			スケジュールをたてよう ☆☆☆P88～90 ・あさ、ひる、よる ☆☆☆P91 ・きのう、きょう ☆☆☆P92～93 ・あしたはお休み①② しらべよう ・カレンダー	・家や学校の朝の活動を思い出す。 ・10時過ぎあたりから給食までの間にどのような活動や学習をしたのか考えたり、給食の献立は何か調べてみたりする。 ・家に帰ってから、あるいは暗くなってから何をしたら、お風呂はいつ入るかなどを話す。 ・「朝」「昼」「夜」に分けて一日のスケジュールを書き出す。 ・「きのう」「きょう」という言葉や日めくりカレンダーの日付を基に昨日と今日の違いに気付く。 ・写真やイラストを使い、昨日の様子と今日の様子の比較、昨日の出来事と今日の出来事の対比などを話し合う。 ・毎日の天気や気温、給食のメニュー、または花や野菜の生育の様子、季節に応じたイベントを記録する。 ・体調管理表に日付や体調を記録する。 ・カレンダーワークで具体的に明日をイメージさせ、「明日」を理解する。 ・「明日」という言葉を意識的に使用して、日常で使う。	外国語活動 「今日は何曜日」
	2 月	11	（知・技）ものものの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりすることができる。（Dア（ア）ア） ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取ることができる。（Dア（ア）イ） （思・判・表）個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現している。 （主学）数学的活動の楽しさに気付く、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようすることができる。	（知・技）ものものの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりしている。 ・身の回りにあるデータを簡単な記号に置き換えて表し、比較して読み取っている。 （思・判・表）個数の把握や比較のために簡単な絵や図、記号に置き換えて簡潔に表現している。 （主学）数学的活動の楽しさに気付く、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆☆☆本P94～95 ・ひょうをつくりましょ① ☆☆☆本P96～97 ・ひょうをつくりましょ②	・ボールを転がす回数や順番などの簡単なルールを決めてボーリングゲームを行う。 ・ゲームの得点を●などの記号に置き換え、得点の一覧表を作る。 ・得点の一覧表を使って得点の結果を比較し、「～より多い」「～より少ない」「～と同じ」などと表現する。 ・毎日の天気を観察し、結果を記録表に晴れ、くもり、雨などの絵カード取り付けて記録する。 ・インターネットを使って天気を調べる。 ・晴れ、くもり、雨など、それぞれの日数を月ごとにまとめ、その結果を●印などで記録して表を作成する。 ・棒グラフのような表を用意し、2月、3月の天気を天気ごとの項目別の日数分だけマス目を塗りつぶす。 ※中学部の1段階で丁寧に学ぶので、触れる程度でよい。	体育「ボールを使った運動やゲーム」
	3 月	7					
留意点 引継等		・時計については、学習の始めと終わりに確認するなど、学校生活全体の中で取り扱う。					
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	8名		おんがく☆☆☆

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	6	(知及技) ①曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付く。(3段階Bア) ②示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能を身に付ける。(3段階Aエ) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いを表現する。(3段階Aア) (学・人) 音楽に興味・関心を持ち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習を楽しんで取り組もうとする。(3段階)	(知・技) ①曲想や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付いている。 ②示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現している。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもっている。 (主学) 音楽に興味・関心を持ち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習を楽しんで取り組もうとしている。	○季節の歌を歌おう (歌) ・ゆかいなまきば ・パレード ○いろいろなリズム (器・音) ・ミッキーマウスマーチ ・あさまでサンバ ○音楽に合わせて踊ろう (身・鑑) ・おどろうたのしいボーレチケ	・示範の表現を見て、自分が意識した拍やリズム、旋律を教師の支援を受けながら考えて表現する。 ・歌詞に合った身体表現を教師の支援を受けながら考え、身体表現しながら歌う。	国「役割をもって伝えよう」 体「体づくり運動」 「表現運動」 特「学年・学級開き」
	5月	6	(知及技) 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能を身に付ける。(3段階Aエ) (思判表力) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付く。(3段階Aア) (学・人) 自分の好きな部分をロずさんだり、考えて踊ったり、表現している。(3段階)	(知・技) 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能を身に付けている。 (思・判・表) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりについて考え、どのように歌うかについて思いをもっている。 (主学) 自分の好きな部分をロずさんだり、考えて踊ったり、表現しようとしている。	○盛り上がりを感じて歌おう(歌) ・にじ ○わらべうた(歌・身) ・おしくらまんじゅう ○いろいろなリズム (器・身) ・たのしいね	・リズムや速度の面白さに気付き、自分の好きな部分をロずさんだり、考えて踊ったりする。 ・考えて教師の伴奏に合わせて歌ったり、手拍子で合いの手を入れたりする。	体「表現運動」 特「学年紹介」

Ⅰ 学 期	6月	6	（知及技） 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりする技能を身につける。（3段階Aア） （思判表力） 音遊びを通して、音の面白さに気づいたり、音楽づくりの発想を得たりすること。（3段階Aウ） （学・人） 音色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとする。（3段階）	（知・技） 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりする技能を身につけている。（思・判・表） 音遊びを通して、音の面白さに気づいたり、音楽づくりの発想を得たりしている。（主学） 音色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○身振りをつけてみんなて歌おう（歌・身） ・さんば ・せかい中の子どもたちが ○ドレミの音で遊ぼう（器） ・かえるのがっしょう ○リズムをつくろう（音） ・雨の音がくをつくろう	・歌詞に出てくる情景や生き物等について、イメージを膨らませながら歌う。 ・階名唱をしたり、考えてキーボードや鍵盤ハーモニカなどの旋律楽器を演奏したりする。 ・考えて雨の音をイメージした楽器やリズムで表現する。 ・歌詞に出てくる言葉に合わせた動作を考え、曲に合わせて身体表現する。	生「生命・自然」 国「リズムに親しもう」 体「表現運動」 道「自然とふれ合う」
	7月	6	（知及技） 範唱や範奏を聴いて階名唱したり、絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりする。（3段階Aア、Aイ） （思判表力） 声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫する。（3段階Bア、Aア） （学・人） 打楽器の音色やリズムと曲想との関わりについて興味・関心をもち、音楽を味わって聴く学習に楽しんで取り組む。（3段階）	（知・技） 範唱や範奏を聴いて階名唱したり、絵譜を見ながら音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏したりする技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。（思・判・表） 声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。（主学） 打楽器の音色やリズムと曲想との関わりについて興味・関心をもち、音楽を味わって聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。	○みんなで歌おう（歌・身） ・ぼくのミックスジュース ○ドレミの音で遊ぼう（器） ・きらきらぼし ○どんな音やリズムが聞こえてくるかな（鑑） ・シンコペイテッドクロック	・考えて教師や友達と交互唱をする。 ・階名唱をしたり、考えて鍵盤楽器を演奏したりする。 ・ウッドブロックとトライアングルの音を聴き比べ、楽器の音色やリズムを感じながら聴く。	国「お店の人に聞いてみよう」 図「七夕飾り」
	9月	9	（知及技） 歌詞の表す情景や気持ちと曲想との関わりについて興味・関心をもち、曲想に合う強弱や速度を工夫して歌ったり、身体表現に楽しんで取り組む。（3段階Aア、Aエ） （思判表力） 拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだす。（3段階Bア、Aア、Aエ） （学・人） 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付き、味わって曲を聴く。（3段階）	（知・技） 歌詞の表す情景や気持ちと曲想との関わりについて興味・関心をもち、曲想に合う強弱や速度を工夫して歌ったり、身体表現に楽しんで取り組んでいる。（思・判・表） 拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、表現を工夫し、どのように体を動かしたり歌ったりしたらよいか思いをもっている。（主学） 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付き、味わって曲を聴こうとしている。	○季節の歌を歌おう（歌） ・あきの子 ・修学旅行の替え歌 ○まつりを楽しもう（エイサー）（器・音・身） ・唐船ドーイ ○音をつくろう（器・音） ・たたたん ぴょん ○物語の音楽を楽しもう（鑑） ・サウンドオブミュージック	・考えて声の強弱の付け方を工夫して歌う。 ・バチの持ち方、構え、パーランクーの叩き方を知り、教師の支援を受けながら考えて曲に合わせて叩く。 ・情景やストーリーを思い浮かべながら曲を聴く。	生「生命・自然」 図「大好きな物語」 体「表現運動」 道「国やふるさとのよさ特「修学旅行」」「自然に親しむ」

2 学 期	10月	7	(知及技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりについて気付く。(3段階Bア) (思判表力) ①擬声語の響き、旋律やフレーズを聴き取り、よさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫してどのように歌うのか工夫する。(3段階Bア、Aア) ②拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだす。(3段階Bア、Aア、Aイ、Aウ、Aエ) (学・人) 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付く、味わって曲を聴く。(3段階)	(知・技) 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりについて気付いている。 (思・判・表) ①擬声語の響き、旋律やフレーズを聴き取り、よさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫してどのように歌うのか工夫している。 ②拍やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、体を動かしたり歌ったりして曲や演奏の楽しさを見いだしている。 (主学) 歌詞の表す情景や気持ち、旋律と曲想との関わりについて気付く、味わって曲を聴こうとしている。	○季節の歌を歌おう(歌) ・タやけ小やけ ・修学旅行の替え歌 ○音楽をつくろう2(器・音) ・虫のがっそうたい ○物語の音楽を楽しもう(鑑) ・サウンドオブミュージック	・曲調や歌詞から「こんなふうに歌いたい」という自分の思いに合った表現を教師の支援を受けながら考えて歌う。 ・考えて手拍子や太鼓でリズム奏をする。 ・歌詞に出てくる動物などの動きをイメージして、考えて楽器や身体の動きで表現する。 ・情景やストーリーを思い浮かべながら曲を聴く。	生「生命・自然」 図「大好きな物語」 体「表現運動」 道「国やふるさとのよさ」「世界の国々」「自然に親しむ」 特「修学旅行」
	11月	7	(知及技) 歌詞の擬声語を生かしながら、情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌う。(3段階Aア) (思判表力) 歌詞の表すイメージについて興味・関心をもち、そのイメージに合わせた身体表現に楽しんで取り組む。(3段階Aエ) (学・人) 音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとする。(3段階)	(知及技) 歌詞の擬声語を生かしながら、情景に合った表現で自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能を身に付けて歌う。(3段階Aア) (思・判・表) 歌詞の表すイメージについて興味・関心をもち、そのイメージに合わせた身体表現に楽しんで取り組もうとしている。 (主学) 音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとしている。(3段階)	○みんなで歌うリズムを楽しもう(歌) ・ピクニック ・ゆかいなまきば ○音楽に合わせて身体を動かそう(音・身) ・あらうま	・歌詞に出てくる動物の鳴き声や擬音を教師の支援を受けながら考えて発音したり歌ったりする。 ・相手の動きを意識し、考えて、自分の動きを相手に合わせた、異なる動作をしたりする。 ・馬が駆ける様子を想像しながら、考えて身体表現する。	国「リズムに親しもう」 体「表現運動」
	12月	6	(知及技) 歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う、体を動かしながら歌う技能を身に付けて歌う。(3段階Aア) (思判表力) 楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて、考える。(3段階Bア、Aイ) (学・人) 旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、体を動かしながら音楽を聴く学習に楽しんで取り組む。(3段階)	(知・技) 歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う、体を動かしながら歌う技能を身に付けて歌うことができる。 (思・判・表) 楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて、考えている。 (主学) 旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、体を動かしながら音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。	○みんなで歌うリズムを楽しもう(歌) ・手と手と手と ○音楽に合わせて身体を動かそう(音・身) ・ギャロップでおどろろ ○楽器の音色を楽しもう(器・鑑) ・小犬のワルツ	・季節を感じながら、考えて友達と声を合わせて楽しく歌う。 ・ピアノ伴奏や教師の歌声に合わせて、ギャロップを踏みながら歌う。 ・歌と一緒に、考えてハンドベルやトーンチャイム、鉄琴などの楽器を演奏する。 ・犬の動きを想像しながら曲を聴く。	生「生命・自然」 体「表現運動」

3 学 期	1月	6	(知及技) 音色やリズム、旋律、音の重なりを聴き取り、表現する技能を身に付ける。(3段階Bア、Aア) (思判表力) ①声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫する。(3段階Aア) ②旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、どのように表現しようかと考える。(3段階Aウ) (学・人) 音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組む。(3段階)	(知・技) 音色やリズム、旋律、音の重なりを聴き取り、表現する技能を身に付けている。(思・判・表) ①声の音色や旋律の呼びかけ合いを聴き取り、それらのよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方を工夫している。 ②旋律や強弱の違いに興味・関心をもち、どのように表現しようかと考えている。 (主学) 音楽に興味・関心をもち、友達と一緒に声を合わせて歌ったり、音楽に合わせて体を動かしながら聴いたりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○お正月の歌(歌・鑑) ・お正月、干支の歌等 ○いろいろな声で表現して遊ぼう(歌・音・身) ・もしもコックさんだったなら・手のひらをたいていように ○楽器を感じながら聴こう(鑑) ・威風堂々	・リズムを感じ取り、考えて交互唱をする。 ・教師の支援を受けながら考えて、曲に合わせて強弱弱の・拍子のリズムをとる。 ・教師の歌やピアノに合わせて、考えて速度や強弱に変化をつけながら身体表現する。	道「国やふるさとのよさ」
	2月	6	(知及技) 範唱を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌う。(3段階Aア) (思判表力) ①階名唱を聴いたり、絵譜を見ながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考える。(3段階Aイ) ②簡単なリズムやパターンに気づき、どのように表現しようかと考える。(3段階Bア、Aエ) (学・人) 色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組む。(3段階)	(知・技) 範唱を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌うことができる。(思・判・表) ①階名唱を聴いたり、絵譜を見ながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考えている。 ②簡単なリズムやパターンに気づき、どのように表現しようかと考えている。 (主学) 色や音の特徴、階名への興味・関心を深め、音の出し方を考えて鍵盤ハーモニカを演奏したり階名唱したりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ・卒業式の歌 ○ドレミファソの音で遊ぼう(器) ・こぐまの二月 ○言葉のリズムで遊ぼう(歌・音・身) ・きたかぜ小ぞうのかんたろう ○楽器を感じながら聴こう(鑑) ・威風堂々	・拍を感じ取りながら、範唱を模倣して歌う。 ・階名唱をしたり、考えてキーボードやハンドベルで演奏したりする。 ・簡単なリズムの特徴や歌詞を感じ取り、考えて身体表現する。	生「生命・自然」 道「自然に親しむ」 特「13祝い」「学習発表会」
	3月	5	(知及技) ①範唱や伴奏を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌う。(3段階Aア) ②楽器の名前を口答したり、選んだりする。(3段階Aイ) (思判表力) 楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考える。(3段階Aイ) (学・人) 歌詞の表す情景を想像したり表現を工夫したりして、思いをもって歌ったり、踊ったりする学習に楽しんで取り組む。(3段階)	(知・技) ①範唱や伴奏を聴いて歌詞や階名で歌う技能を身に付けて歌うことができる。 ②楽器の名前を口答したり、選んだりできる。 (思・判・表) 楽器の音を聴きながら、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて考えている。 (主学) 歌詞の表す情景を想像したり表現を工夫したりして、思いをもって歌ったり、踊ったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ・卒業式の歌 ・プレーメンの音がくたいてい ○オーケストラを聴こう(鑑) ・オーケストラのがっき ・威風堂々 ・きみがよ	・範唱や伴奏をよく聴いて歌う。 ・考えて声の強さや柔らかさに気をつけて歌う。 ・考えて友達と一緒に音楽劇をする。 ・リズムの特徴に気づき、音楽に合わせて自由に身体を動かしたり、手拍子したりする。 ・考えて打楽器と鍵盤楽器を合わせて合奏する。 ・楽器の名前や大きさを知り、音色の特徴に気付く。	国「お話を読む」 特「1年間を振り返ろう」
	留意点 引継等		主に『おんがく☆☆☆』の題材を取り扱うが、修学旅行等の行事や、児童の実態によって他の題材を扱うことができる。				
	評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度 ・発表 ・実技テスト				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	8名		ワークキット

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。(3段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。(3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	6	(知及び技) スクラッチの技法で模様や絵を描く制作活動を通して、線や形、色などの感じに気付くことができる。 (3段階共通事項ア(7)) 様々な材料や用具を使い、スクラッチの技法で工夫して模様や絵を描くことができる。 (3段階Aア(1)) (思判表力) 引っかくことで出てくる色や線等の感じを基に自分のイメージをもち、模様や絵に表すことができる。 (3段階共通事項(1)、Aア(7)) (学・人) つくりだす喜びを味わい、楽しんでスクラッチの技法を使った活動に取り組む。(3段階)	(知・技) スクラッチでの制作活動を通して、線や形、色などの感じに気付いている。 スクラッチの技法で工夫して模様や絵を描いている。 (思・判・表) スクラッチの技法を使って表現している。 (主学) スクラッチの技法を使って模様や絵を描く活動に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～模様を描こう～ スクラッチ	・画用紙にクレパスで自由に色を塗る。黒のクレパスで上から塗りつぶす。割り箸、竹ひごなど色々な引っかくための用具を使って自由に絵を描く(ひっかく)。 作品を紹介し合う。	
	5月	6	(知及び技) 動くオモチャを作る制作活動を通して、形や色、模様などの感じやオモチャが動く仕組みに気付くことができる。 (3段階共通事項ア(7)) 様々な身近な材料を使い、工夫して動くオモチャを作ることができる。(3段階Aア(1)) (思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、見たことからイメージをもち、形に表すことができる。(3段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) 動くオモチャの簡単な仕組みに興味をもち、つくりだす喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組んだり、制作物で遊んだりする。(3段階)	(知・技) 動くオモチャを作る制作活動を通して、形や色、模様などの感じやオモチャが動く仕組みに気付いている。 様々な身近な材料を使い、工夫して動くオモチャを作っている。 (思・判・表) 様々な身近な材料を使って、形に表している。 (主学) 動くオモチャの簡単な仕組みに興味をもち、楽しく制作活動に取り組もうとしている。制作物で楽しく遊ぼうとしている。	・作ってみよう ～動くオモチャ(走る)～ 車 等	・動くオモチャの簡単な仕組みを知る。 紙皿や箱、輪ゴム等の身近な材料を使い、簡単な動くオモチャを作る。 出来上がったオモチャを紹介し合ったり、動かして遊んだりする。	生「ものの仕組みと働き①」 国「説明文を読もう」

Ⅰ 学 期	6月	7	（知及技）パルプやはがきを作る活動を通して、牛乳パックの形が変わっていく様子や、色や模様の感じに気付くことができる。（３段階共通事項ア（ア）） 牛乳パックからパルプを作ったり、色々な色や模様のはがきを工夫して作ったりすることができる。（３段階Ａア（イ）） （思判表力）材料や用具などを基に自分のイメージをもち、形に表すことができる。（３段階共通事項ア（イ）、Ａア（ア）） （学・人）つくりだす喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組む。（３段階）	（知・技）パルプやはがきを作る活動を通して、牛乳パックの形が変わっていく様子、色や模様の感じに気付いている。 牛乳パックからパルプを作ったり、色々な色や模様のはがきを工夫して作ったりしている。 （思・判・表）材料や用具などを基に自分のイメージをもち、形に表している。 （主学）牛乳パックからパルプを作ったり、色々な色や模様のはがきを作ったりする活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～牛乳パックを使って～ 和紙作り（はがき）	・牛乳パックからパルプを作ることを楽しむ。 パルプに絵の具や色々な素材を混ぜる。 パルプを漉き、色々な色や模様のはがきを作る。 作品を紹介し合う。	生「生命・自然①」 国「説明文を読もう」
	7月	6	（知及技）窓アートの制作活動を通して、形や色、模様などの感じに気付くことができる。（３段階共通事項ア（ア）） ハサミなどでカラーセロハンを切ったり、色々な形のカラーセロハンを組み合わせて工夫して模様を作ったりすることができる。（３段階Ａア（イ）） （思判表力）形や色などを基に自分のイメージをもち、模様を表すことができる。（３段階共通事項ア（イ）、Ａア（ア）） （学・人）つくりだす喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組む。（３段階） （知及技）作品の鑑賞を通して、形や色などの感じや表し方の面白さなどに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。（３段階共通事項ア（ア）、Ｂア（ア）） （思判表力）作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを発表することができる。（３段階Ｂア（ア）） （学・人）作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動を通して、つくりだす喜びを味わう。（３段階）	（知・技）窓アートの制作活動を通して、形や色、模様などの感じに気付いている。 ハサミなどでカラーセロハンを切ったり、色々な形のカラーセロハンを組み合わせて工夫して模様を作ったりしている。 （思・判・表）教カラーセロハンを使って窓に模様を表現している。 （主学）窓アートの活動に教楽しく取り組もうとしている。 （知・技）作品の鑑賞を通して、形や色などの感じや表し方の面白さなどに気付いている。 （思・判・表）作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを表現している。 （主学）作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう 窓アート ・見てみよう（鑑賞） ～作品を見て感じたことを話し合う～ 身近な美術作品	・ハサミの安全で適切な使い方を確かめながら、セロハンを切ることを楽しむ。 カラーセロハンの切り方を工夫して、色々な形をつくる。 カラーセロハンを使って、窓ガラスに色々な模様を表現する。 作品を鑑賞する。 ・Ⅰ学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	道「友達の気持ちになつて」「よさを伸ばす」
	9月	8	（知及技）ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる制作活動を通して、紙を破った感覚や紙の感触、形、色などの感じに気付くことができる。（３段階共通事項ア（ア）） 色々な材質の紙を使い、ちぎり絵の技法で工夫して模様や絵をつくることができる。（３段階Ａア（イ）） （思判表力）材料や感じたこと、想像したこと、見たことなどからイメージをもち、ちぎり絵の技法で模様や絵に表すことができる。（３段階共通事項ア（イ）、Ａア（ア）） （学・人）つくりだす喜びを味わい、楽しんで制作活動に取り組む。（３段階）	（知・技）ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる制作活動を通して、紙を破った感覚や紙の感触、形、色などの感じに気付いている。 色々な材質の紙を使い、ちぎり絵の技法で工夫して模様や絵をつくっている。 （思・判・表）ちぎり絵の技法で模様や絵に表している。 （主学）ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる活動に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～ちぎり絵～ 木、花 等	・紙を色々な方法で破くことを試し、破いてできる形の面白さを感じ取る。 破いた紙の形や色、質感に着目しながら、色々な組み合わせを試して模様や絵に表す。 作品を紹介し合う。	生「生命・自然②」 算「形をつくろう」

2 学 期	10月	6	(知及技) 感想画を描く活動を通して、形や色などの感じに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 様々な画材から使いたい画材を選び、工夫して感想画を描くことができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 絵本等の挿絵や物語の内容を基に自分のイメージをもち、絵に表すことができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 好きな絵本等を絵に表す喜びを味わい、感想画を描く活動に取り組む。(3段階)	(知・技) 感想画を描く活動を通して、形や色などの感じに気付いている。 様々な画材から使いたい画材を選び、工夫して感想画を描いている。 (思・判・表) 絵本等の挿絵や話の内容を基に自分のイメージをもち、絵に表している。 (主学) 感想画を描く活動に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～本を読んだり見たりして感じたこと、想像したことを描いてみよう～ 感想画	・物語を聞いたり読んだりして感想画に表したい本や描きたい場面を選ぶ。 物語を聞いたり読んだり、挿絵を見たりして思い浮かべたことや感じたことから表したいことを見つけ、使いたい画材を選んで絵に表す。 作品を紹介し合う。	国「図書室に行ってみよう」「昔話」
	11月	6	(知及技) 色々な種類の粘土から様々な形を作り出す感覚や立ち上がった形を作ったりする活動を通して、粘土の感触や形の感じ、形が変化する様子などに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 粘土の扱いに慣れ、工夫して色々な形を作ったり立ち上がった形を作ったりすることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 粘土から作り出した色々な形などを基に自分のイメージをもち、立ち上がった形を作ることができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 粘土の感触を味わい、色々な形を作り出す喜びをしながら立ち上がった形を作る活動に取り組む。(3段階)	(知・技) 色々な種類の粘土から様々な形を作り出す感覚や立ち上がった形を作ったりする活動を通して、粘土の感触や形の感じ、形が変化する様子などに気付いている。 粘土の扱いに慣れ、工夫して色々な形を作ったり立ち上がった形を作ったりしている。 (思・判・表) 粘土から作り出した色々な形などを基に自分のイメージをもち、立ち上がった形を作っている。 (主学) 粘土で色々な形を作り出したり立ち上がった形を作ったりする活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～立ち上がった形(粘土)～ 人物、動物 等	・色々な種類の粘土に触れ、どのような形ができそうか思い付いたことを試す。 ・握ったり、ひねったり、つまみ出したり等、色々な造形の方法を知る。 粘土やその他の材料から表したいことを考え、思い付いたことを形に表す。 作品を紹介し合う。	生「ものの仕組みと働き②」 算「くらべてみよう」「形をつくろう」
	12月	7	(知及技) 木版画を作成する活動を通して、色々な線や模様、色の感じ、彫刻刀で彫った板と刷り取り紙の関係などに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 彫刻刀の安全な使い方を知り、工夫して線や模様を彫ったり刷ったりすることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 材料や用具などを基に自分のイメージをもち、板に彫刻刀で線や模様を彫ったり、刷ったりすることができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 板に彫刻刀で線や模様を彫ったり刷ったりする版表現の楽しみを味わいながら、木版画を作る活動に取り組む。(3段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの感じや表し方の面白さなどに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。(3段階共通事項ア(7)、Bア(7)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを発表することができる。(3段階Bア(7)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動を通して、つくりだす喜びを味わう。(3段階)	(知・技) 木版画を作成する活動を通して、色々な線や模様、色の感じ、彫刻刀で彫った板と刷り取り紙の関係などに気付いている。 彫刻刀の安全な使い方や彫り方、刷り方を知り、工夫して木版画を作成している。 (思・判・表) 材料や用具などを基に自分のイメージをもち、彫刻刀で板を彫ったり、刷ったりしている。 (主学) 木版画を作成する活動に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの感じに気付いている。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを表現している。 (主学) 作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動に取り組もうとしている。	・描いてみよう 木版画 ・見てみよう(鑑賞) ～作品を見て感じたことを話し合う～ ていーだのひかり作品展	・彫刻刀の安全な使い方を知る。 彫刻刀を使って板を彫り、色々な線や模様を描く。 木版画を刷る。 作品を紹介し合う。 ・ていーだのひかり作品展を鑑賞する(写真や動画で鑑賞する、美術館に行つて鑑賞する等)。 2学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て面白さや楽しさについて話したり聞いたりする。	生「生命・自然③」 道「自然に親しむ」「自然とふれ合う」

3 学 期	1月	6	(知及技) 液体粘土作りや液体粘土を使った造形活動を通して、触った感じや色々な形に変化すること等に気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 液体粘土を作ったり、液体粘土や布等を使って工夫して形を作ったりすることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 液体粘土に触った感じや色々な形を基に自分のイメージをもち、液体粘土を使って思い思いに形を作ることができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 作り出す喜びを味わいながら、液体粘土を使った造形活動に取り組む。(3段階)	(知・技) 液体粘土作りや液体粘土を使った造形活動を通して、触った感じや色々な形に変化すること等に気付いている。 液体粘土を作ったり、液体粘土や布等を使って工夫して形を作ったりしている。 (思・判・表) 液体粘土に触った感じや色々な形を基に自分のイメージをもち、液体粘土を使って思い思いに形を作っている。 (主学) 液体粘土を使った造形活動に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～液体粘土を使って～ まち並み	・液体粘土を作る。 液体粘土を使って布などの柔らかい素材を固め、思い思いの形を作る。 自分が住みたい町、行ってみたい町などを表現する。 作品を紹介し合う。	算「形をつくろう」「くらべてみよう」
	2月	6	(知及技) 釘や金槌等を使った造形活動を通して、形の感じに気付くことができる。(3段階共通事項ア(7)) 釘や金槌の安全な使い方を知り、工夫して色々な形を作ることができる。(3段階Aア(イ)) (思判表力) 材料や用具から自分のイメージをもち、思い付いた形やオリジナルキャラクターを作ることができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 作り出す喜びを味わいながら、釘や金槌等を使った造形活動に取り組む。(3段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色、表し方の面白さなどに気付いたり、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。(3段階共通事項ア(7)、Bア(7)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを発表することができる。(3段階Bア(7)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を見て気付いたことや感じたことを話し合う活動を通して、つくりだす喜びを味わう。(3段階)	(知・技) 釘や金槌等を使った造形活動を通して、形の感じに気付いている。 釘や金槌の安全な使い方を知り、工夫して色々な形をつくっている。 (思・判・表) 材料や用具から自分のイメージをもち、思い付いた形やオリジナルキャラクターを表現している。 (主学) 釘や金槌等を使った造形活動に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色、表し方の面白さなどに気付いている。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が気付いたことや感じたことを表現している。 (主学) 作品の鑑賞や作品を見て気付いたことや感じたことを話し合う活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～釘と金槌を使って～ オリジナルキャラクター ・見てみよう(鑑賞) ～作品を見て感じたことを話し合う～ 浦添市小中学校美術作品展	・釘や金槌の安全な使い方を知る。 板や釘、糸類、針金等を使って、思い付いたことを形に表す。 オリジナルのキャラクターを作る。 作品を紹介し合う。 ・浦添市小中学校美術作品展を鑑賞する(美術館に行つて鑑賞する)。 3学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	生「ものの仕組みと働き②」「安全①」
	3月	6	(知及技) 表したいことに応じて材料や用具を選んだり、今までの経験や学習した技法を生かして工夫して作品集を作ったりすることができる。(3段階共通事項ア(7)、Aア(イ)) (思判表力) 一年間で作成した作品や今までの経験や学習した技法からイメージをもち、使いたい材料や用具を選んで作品集に表すことができる。(3段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 一年間を振り返りながら作品集作りに取り組んだり、できあがった作品集を紹介し合ったりする。(3段階)	(知・技) 表したいことに応じて材料や用具を選んでいる。今までの経験や学習した技法を生かして工夫して作品集を作っている。 (思・判・表) 一年間で作成した作品や今までの経験や学習した技法からイメージをもち、使いたい材料や用具を選んで作品集に表している。 (主学) 作品集作りに楽しく取り組もうとしている。作品集を紹介しようとしたり、友達の作品集を見ようとしたりしている。	・作ってみよう ～作品集作り～	・作品を見ながら一年間の活動を振り返る。 表したいことに応じて材料や用具を選び、今までの経験や学習した技法を生かして作品集を作る。 作品集を紹介し合う。	特「1年間を振り返ろう」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	8名		ワークシート

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたこと表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(2段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Aイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとする。(2段階Aウ)	(知・技) 楽しく基本的な体づくり運動をしている。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとしている。	体づくり運動① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックをしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミック リズムやカウントに合わせて体を動かす。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	5月	6	(知及技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(2段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Aイ) (学・人) うがい・手洗いに取り組もうとする。(2段階Gア)	(知・技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。(2段階Aア) (思・判・表) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Aイ) (主学) うがい・手洗いに取り組もうとしている。	体づくり運動② ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・大縄跳びをしよう 保健 ・うがい、手洗い (年間を通して)	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・大縄跳び 決めた回数を跳ぶ。 ・感想発表 ・うがい、手洗い	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	6月	7	(知及技) 楽しく水の中で基本的な運動をすることができる。(2段階Dア) (思判表力) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Dイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとする。(2段階Dウ)	(知・技) 楽しく水の中で基本的な運動している。 (思・判・表) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。	水の中での運動① ・水と友達になろう ここからわーく ・プライベートゾーン	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・顔付け 合図に合わせて水に顔をつける。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表 プライベートゾーン ・体の特に大切なところ ・見せたりさわらせてもいい時は？	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

2 学 期	7月	6	(知及技) 楽しく水の中で基本的な運動をすることができる。(2段階Dア) (思判表力) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Dイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとする。(2段階Dウ)	(知・技) 楽しく水の中で基本的な運動している。 (思・判・表) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。	水の中での運動② ・水に慣れよう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・ボビング ・伏し浮き ・潜る ・自由タイム ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	9月	8	(知及技) 楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。(2段階Cア) (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Cイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。(2段階Cウ)	(知・技) 楽しく走・跳の基本的な運動をしている。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとしている。	走・跳の運動① ・リレーをしよう	・集合 ・準備体操 ・かけっこ スタート、ゴールを確認する。 教師と一緒に走る。 1人で走る。 友達と一緒に走る。 バトンパスをする。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	10月	6	(知及技) 楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。(2段階Cア) (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Cイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。(2段階Cウ)	(知・技) 楽しく走・跳の基本的な運動をしている。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとしている。	走・跳の運動② ・ジャンプをしよう ここからわーく ・思春期の体と心の変化	・集合 ・準備体操 ・跳んでみよう i ハードルジャンプ 片足、両足 ii 的を触る 200cm程度の的をジャンプして触る。 ・感想発表 思春期の体と心の変化 ・二次性徴で変化するところ(声、気持ち(反抗期)、体つきなど) ・精通、射精について ・月経の仕組み、周期、手当の仕方	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	11月	6	(知及技) 教楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(2段階Eア) (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Eイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。(2段階Eウ)	(知・技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。	ボールを使った運動やゲーム① ・大玉ドッジボールをしよう	・集合 ・準備体操 ・ドッジボール 投げる、逃げる。 勝敗を決める。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

	12月	7	（知及技）楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。（２段階Eア） （思判表力）ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（２段階Eイ） （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。（２段階Eウ）	（知・技）楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしている。 （思・判・表）ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。	ボールを使った運動やゲーム② ・サッカーをしよう ここからわーく ・プライベートゾーン	・集合 ・準備体操 ・ボール蹴り ボールを蹴って、的に当たる。 ボールを蹴って、ゴールに入れる。 ・サッカーをする。 ・勝敗を決める。 ・感想発表 プライベートゾーン ・体の特に大切なところ ・見せたりさわらせてもいいときは？	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
3学期	1月	6	（知及技）教楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をすることができる。（２段階Bア） （思判表力）器械・器具を使っの基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（２段階Bイ） （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っの基本的な運動をしようとする。（２段階Bウ）	（知・技）楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしている。 （思・判・表）器械・器具を使っの基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っの基本的な運動をしようとしている。	器械・器具を使っの運動① ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱をまたぐ ii マット上を転がる iii マット上ジャンプ iv 肋木昇降 v 鉄棒ぶら下がり ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	2月	6	（知及技）楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をすることができる。（２段階Bア） （思判表力）器械・器具を使っの基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（２段階Bイ） （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っの基本的な運動をしようとする。（２段階Bウ）	（知・技）楽しく器械・器具を使っの基本的な運動をしている。 （思・判・表）器械・器具を使っの基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、器械・器具を使っの基本的な運動をしようとしている。	器械・器具を使っの運動② ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱上からジャンプ ii マット上を転がる iii マット上で前転 iv 平均台上を歩く v トランポリン vi 跳び箱を跳ぶ ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	3月	6	（知及技）音楽に合わせて楽しく表現運動をすることができる。（２段階Fア） （思判表力）基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。（２段階Fイ） （学・人）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとする。（２段階Fウ）	（知・技）音楽に合わせて楽しく表現運動をしている。 （思・判・表）基本的な表現運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 （主学）簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な表現運動をしようとしている。	表現運動① ・ダンスをしよう	・集合 ・準備体操 ・ダンス i 設定ダンス 動物曲、流行曲 ii 自由ダンス ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・習得度 ・実技				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	8名		NHK for school他

年間目標				道徳的諸価値についての理解を基に、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。			
日	月	時数	目標	主題名	活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連	
Ⅰ 学期	4月	3	挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。また、挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し、できるだけ自分で考え、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	【B 礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・知らない人にも挨拶をすることの意義や大切さについて、できるだけ自分で考えること。 ・礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場合に応じて実践しようとするについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「呼びかけてみよう」	
	5月	3	家族の愛情や家族の一員としての役割についてできるだけ自分で考え、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもち、伝えることの大切さについてできるだけ自分で考え、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする。	【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B 感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとすることについて、できるだけ自分で考えること。 ・お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意義や大切さについてできるだけ自分で考えること。 ・日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたりすればよいか、また家族などの身近な人々からの愛情に対して感謝の気持ちをもつことの大切さについてできるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 国語 「説明文を読もう」	
	6月	4	みんなの行動についてできるだけ自分で考えることをとおして、仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	【C 公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・自分のクラスでも起こりかねない問題として捉え、「なかまはずれ」が起こらないようにするためには、どのようにしていくのかがよいかについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり ケ きまり 国語 「リズムに親しもう」 「長音・促音」	
	7月	2	規則正しい生活や周りの人に対する態度についてできるだけ自分で考え、わがままな行動をせず、正しい生活態度で過ごし、周りの人に迷惑をかけないようにしようとする。	【A 節度、節制】 ・生活を見直す ・物を大切に	・わがままをせず、規則正しい生活を送ることの大切さに気づき、これからどのようにすればよいかについて、できるだけ自分で考えること。 ・物を大切にすることの価値に気づき、物を大切にすることについて、できるだけ自分で考えること。	生活 ア 基本的生活習慣 ウ 日課・予定 オ 人との関わり 国語 「お店の人にきいてみよう」 「電話で話そう」	
	9月	3	自分の思いだけでなく友達の気持ちもできるだけ自分で考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする。また、友達と仲良くし助け合うことの大切さについてできるだけ自分で考え、よりよい友達関係を築こうとする。	【B 友情、信頼】 ・友達の気持ちになって ・友達の立場になって 【ここからわーく】 ・心地よい関わり（人との距離感を含む） 大例：サイコロやルーレットゲームで同意の取り方、断り方を学ぼう ・ふわふわことば、ちくちくことば	・自分の思いだけでなく、友達の気持ちをできるだけ自分で考えることも大切にして、互いの気持ちを理解しながら接することについて、自分との関わりで考えること。 ・友達の気持ちを考えることの大切さを理解し、よりよい友達関係を築き、互いに助け合うことについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「演じてみよう」	

2 学 期	10月	4	友達のよいところについてできるだけ自分で考えることをとおして、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする。	【A 個性の伸長】 ・よさを伸ばす	・自分のよさについて考える授業をとおして、自分のよいところや悪いところなどにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「ひらがなやカタカナをかこう」 「かん字をかこう」 「話し合い」
	11月	4	自ら働くことのよさや楽しさについてできるだけ自分で考え、すすんでみんなのために働こうとする。	【C 勤労、公共の精神】 ・楽しく働く	・みんなのために働くということについて、できるだけ自分で考えること。 ・みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで仕事をしようということについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 国語 「図書室に行ってみよう」 「説明文を読もう」
	12月	3	自ら働くことのよさや楽しさについてできるだけ自分で考え、すすんでみんなのために働こうとする。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることについて、できるだけ自分で考えること。 ・みんなが使うものを大切にすることについて、できるだけ自分で考えること。	生活 イ 安全 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 「標識を読んでみよう」 「文をかこう」
3 学 期	1月	3	物事のよいことと悪いことについてできるだけ自分で考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとするということについて、できるだけ自分で考えること。 ・勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、できるだけ自分で考えること。	生活 イ 安全 オ 人との関わり ケ きまり 国語 「昔話」 「カタカナのリズムを感じよう」
	2月	4	自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることについてできるだけ自分で考え、生命を大切に生活しようとする。 身近な自然や生き物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとするとともに、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり、動物と接したりして、優しい心で自然と触れあおうとする。	【D 生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D 自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについてできるだけ自分で考えること。 ・自然や動植物に親しむことの大切さや、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり動物に接したりして、優しい心で自然とふれ合うことについてできるだけ自分で考えること。	生活 エ 遊び オ 人との関わり サ 生命・自然 国語 「げきをしよう」 「推敲して発表しよう」
	3月	2	地域のよさについてできるだけ自分で考え、国や郷土に親しもうとする。 いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについてできるだけ自分で考えることをとおして、国旗や国歌に対する考えを深め、他国に対する理解や親しみをもとうとする。	【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C 国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・国や郷土の文化や生活についてできるだけ自分で考えることができる。 ・国や郷土の文化や生活のよさについて、できるだけ自分で考えることができる。 ・国旗に込められた意味とその大切さについてできるだけ自分で考えること。 ・国旗や国歌の大切さについて、できるだけ自分で考えること。	生活 コ 社会の仕組みと公共施設 サ 生命・自然 国語 「お話を読む」
留意点 引継等						
評価方法		・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	8名		Let's Try! 1.2

年間目標	(知及び技) 知識及び技能	外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。
	(学・人) 学びに向かう力、人間性	外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ることができる。

日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	(知及技) いろいろな場面に 応じた挨拶の言い方を知り、 表現に慣れ親しむ。 【(1)(ア)】 (思判表力) 表情やジェス チャー等を工夫しながら挨拶 をし合う。【(3)①ア(ア)】 (学・人) 会話の中で様々な 挨拶をしようとする。	(知・技) 外国語活動時や他 教科、学校生活全般を通じ、 英語の挨拶表現を活用しよう としている。 (思・判・表) 表情やジェス チャー等を交えて表現してい る。 (主学) ジェスチャーや表情 等で挨拶しようとしている。	挨拶をして友だちになろ う Hello, Hi, Goodbye, See you, Let's start English class. That's all for today. ごきげんいかが? How are you? I'm~ fine, good, hungry, tired	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・英語の挨拶をして、 名刺をわたそう ・イースターエッグを 探そう ・友達とごきげんいか が?を聞きあおう ③フォニックス ④ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝え よう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろ う」
	5月	3	(知及技) 自分の事を伝える 言い方を知り表現に慣れ親し む。【(2)ア】 (思判表力) 表情やジェス チャーの大切さに気付き、相 手に伝わるよう工夫しながら 自己紹介をする。【(3)②ア (イ)】 (学・人) 自分の名前や年齢 を英語で話そうとする。	(知・技) 自分の事を伝える 言い方を知り表現に慣れ親し むことができる。 (思・判・表) 表情やジェス チャーの大切さに気付き、相 手に伝わるように表現してい る。 (主学) 自分の名前や年齢を 英語で話そうとしている。	自己紹介をしよう What is your name? My name is Taro. I'm~ (名前) I'm~ (年齢) one, two, three, four, fiv e, six, seven, eight, nine , ten, eleven, twelve, thi rteen, Nice to meet you.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹介 をしよう ・ボールバスゲーム 音楽が止まって、ボール を持っている人が自己紹 介をする。 ③フォニックス ④ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝え よう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろ う」
	6月	4	(知及技) 曜日の言い方を知 り、曜日を尋ねたり答えたり する表現に慣れ親しむ。【(2) ア】 (思判表力) 自分の好きな曜 日を身振りを交えて伝え合 うことができる。【(3)②ア (ア)】 (学・人) 曜日を英語で話そ うとする。	(知・技) 外国語活動時や他 教科、学校生活全般を通じ て、英語で曜日を話したり、 思い出そうとしたりしてい る。 (思・判・表) 自分の好きな 曜日を伝える際、身振りを交 える等表現している。 (主学) 曜日を英語で話そう としている。	今日は何曜日? Monday, Tuesday, Wednesd ay, Thursday, Friday, Sat urday, Sunday What day is today? I like Friday. Days of the week	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Week Song」 Super Simple Songs ②アクティビティ ・ボールバスゲーム 音楽が止まって、ボール を持っている人が好きな 曜日を伝える。 ③フォニックス ④ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 国「長音促音を読んで みよう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろ う」

2 学 期	7月	2	（知及技）外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、言い方の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思判表力）身の回りの物について、何かを尋ねたり身振りを交えて答えたりする。【(3)②ア(7)】 （学・人）外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする。	（知・技）外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、言い方の表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）身の回りの物について、尋ねたり身振りを交えて表現したりしている。 （主学）外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	これなあに？ （身の回りの物） (Apple, Strawberry, Cherry, Grape, Peach, Watermelon, Lemon, Melon, Pineapple, Banana) What is this? That is a banana.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What's this? Song」 Grit for Kids ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。 ・3ヒントゲーム ③フォニックス ④ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 国「お店の人に聞いてみよう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」
	9月	3	（知及技）日本語と英語の音声の違いに気付き、色や食べ物の言い方の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思判表力）色や食べ物について、何が好きかどうかを尋ねたり身振りを交えて答えたりする。【(3)②ア(1)】 （学・人）自分の好みを簡単な英語の表現で紹介しようとする。	（知・技）日本語と英語の音声の違いに気付き、言い方の表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）色や食べ物について、何が好きかどうかを尋ねたり身振りを交えて表現したりしている。 （主学）自分の好みを簡単な英語の表現で紹介しようとしている。	好きなものはなあに？ （色、食べ物） red, blue, green, black, white, pink, yellow, orange What color do you like? I like ~ icecream, rice, fish, spaghetti What food do you like? I like ~	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」 ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 ・よく聞いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「お店の人に聞いてみよう」「説明文を読もう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」
	10月	4	（知及技）日本語と英語の音声の違いに気付き、遊びの言い方の表現に慣れ親しむ。【(1)イ(7)】 （思判表力）遊びについて、何が好きかどうかを尋ねたり身振りを交えて答えたりする。【(3)②ア(7)】 （学・人）自分の好きな遊びを簡単な英語の表現で紹介しようとする。	（知・技）日本語と英語の音声の違いに気付き、言い方の表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）遊びについて、何が好きかどうかを尋ねたり身振りを交えて答えたりする等工夫している。 （主学）自分の好きな遊びを簡単な英語の表現で紹介しようとしている。	好きなものはなあに？ （いろいろな遊び） soccer, baseball, running, swimming What play do you like? I like soccer. ハロウィンを楽しもう ghost, witch, spider	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト（おばけ、魔女、くも） ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット（色、食べ物） ③フォニックス ④ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「話し合いをしよう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」
	11月	4	（知及技）動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思判表力）絵をみて、相手に伝わるように工夫しながら答えたり伝えたりする。【(3)②ア(7)】 （学・人）簡単な英語の表現で動きの言葉を言おうとする。	（知・技）動きの言葉の言い方を知り、その表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）絵をみて、相手に伝わるように答えたり伝えたりする等工夫している。 （主学）簡単な英語の表現で動きの言葉を言おうとしている。	動いてみよう （速く、ゆっくり） walk, jump, stop, sit, run, fast, slowly, go clap, stomp, shake, jump, touch	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Action song」 ・「Walking Walking」 ②アクティビティ ・だるまさんが〇〇 walk, jump, stop, sit, run, fast, slowlyを聞き分けて、動く。 ③フォニックス ④ダンス 「きらきら星」	生「人との関わり」 国「演じてみよう」 音「みんなで歌おう」 「音楽に合わせて踊ろう」

	12月3	（知・技）外国の文化を知り、慣れ親しむ。【(1)イ(イ)】 （思・判・表）なじみのある言葉を伝え合ったり、なじみのある歌の英語版でダンスを踊ったりする。【(3)②ア(7)】 （学・人）外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする。	（知・技）外国の文化を知り、慣れ親しむことができる。 （思・判・表）なじみのある言葉を伝え合ったり、なじみのある歌の英語版でダンスを踊ったりして表現している。 （主学）大まかに外国の文化について知り、意欲的にコミュニケーションを図ろうとしている。	クリスマスだよ merry christmas, cake, candle, Santaclaus, present, December, reindeer	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Jingle Bell」 ・「Hello Reindeer, Goodbye Snowman」 Super Simple Songs ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト（クリスマスに関する） ・英語でフルーツバスケット（クリスマスに関する単語） ③フォニックス ④ダンス 「きらきら星」	生「人との関わり」 国「図書室に行ってみよう」 音「季節の歌を歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
3学期	1月3	（知・技）身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付く。【(2)ア】 （思・判・表）相手に伝わるように工夫しながら自分の姓名の頭文字を伝えようとする。【(3)②ア(7)】 （学・人）身の回りからアルファベットの文字を探そうとし、体で表現しようとする。	（知・技）身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付くことができる。 （思・判・表）相手に伝わるように工夫しながら自分の姓名の頭文字を表現している。 （主学）身の回りからアルファベットの文字を探そうとし、体で表現しようとしている。	アルファベットとなかよし（ABCD）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかるた アルファベットカードでかるたをする。 ・よく聞いて身体表現しよう（T, O, I, L, M, S, V, X, H）など ③フォニックス ④ダンス 「Baby Shark」	生「人との関わり」 国「標識を読んでみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	2月4	（知・技）家族を表す言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思・判・表）身近な人について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようとする。【(3)②ア(4)】 （学・人）家族を表す単語を話そうとし、身体で表現しようとし、体で表現しようとする。	（知・技）家族を表す言い方を知り、その表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）身近な人について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようとしている。 （主学）家族を表す単語を話そうとし、身体で表現しようとし、体で表現しようとしている。	この人はだれ？（家族の紹介） mother, father, brother, sister Who is this? This is my mother. Who are you? I'm ~	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム よく聞いて、絵カードを指さすゲーム（1人～複数人） ・絵本の読み聞かせ「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス 「Baby Shark」	生「人との関わり」 国「文を書こう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	3月2	（知・技）日課を表す表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思・判・表）身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようとする。【(3)②ア(7)】 （学・人）外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	（知・技）日課を表す表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようとしている。 （主学）外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	私の1日を紹介しよう wake up, eat, go, study, sleep, wash I wake up. I go to school. I take a bath.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。 ③フォニックス ④ダンス 1年間のダンスの中から選択	生「人との関わり」 国「推敲して発表しよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
留意点 引継等		※「ほしいものは何かな？」Let's Try! 2 (Unit 7) ※児童の実態に応じて、単元の入替えをしたり、扱う題材（動物、野菜）を追加・変更したりすることがある。				
評価方法		・三観点の確認 ・行動観察 ・授業に対する取組姿勢 ・プリント ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	8名		

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	話し合い活動の過程において、自分の気持ちを発表したり、他者の話をきいたりすることができる。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な生活習慣、約束やきまりを守ることの大切さに気づき、自ら考えて行動する力を養う。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築くことができるようにする。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	3	①(知及技) 学年・学級の友達や教師について知ることができる。 (思判表力) 友達や教師と仲良くしようと表現することができる。 (学・人) 友達や教師と仲良くしようとすることができる。	①(知・技) 学年・学級の友達や教師について知ろうとしている。 (思・判・表) 友達や教師と仲良くしようと表現している。 (主学) 友達や教師と仲良くしようとしている。	①学年・学級開き ・学年、学級紹介、自己紹介(Ⅰ)	①学年・学級紹介、自己紹介 ・個人・学級の目標決める。 ・係・当番を決める。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○算 A・数量の基礎 「あわせていくつ」 「のこりはいくつ」 ○生 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」
	5月	3	①(知及技) 他学年のことに知ることができる。 (思判表力) 他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現することができる。 (学・人) 他学年の友達と仲良くしようとすることができる。	①(知・技) 他学年のことに知っている。 (思・判・表) 他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現している。 (主学) 他学年の友達と仲良くしようとしている。	①学年紹介(Ⅰ) ・児童集会で他学年の紹介を見よう。	①児童集会での他学年の紹介を見る。応援したり、みんなで歌ったりして集会を盛り上げる。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○算 A・数と計算 「あわせていくつ」 「のこりはいくつ」 ○楽 A・表現 「音楽に合わせて踊ろう」 ○生 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」
I 学期	6月	4	①(知及技) 話し合いを行い、計画を立て実施することができる。 (思判表力) お楽しみ会の内容を選ぶことができる。 (学・人) お楽しみ会を実施することができる。 ②(知及技) 不審者に会った時の対応について知ることができる。 (思判表力) 不審者に会った時の対応についてイラストなどを見て正しい対応を選ぶことができる。 (学・人) 実際に大声を出したり、周囲の人に助けを求めたりすることができる。	①(知・技) 話し合いをしようとしている。 (思・判・表) お楽しみ会の内容を選んでいる。 (主学) お楽しみ会を実施しようとしている。 ②(知・技) 不審者に会った時の対応について知ろうとしている。 (思・判・表) 不審者に会った時の対応についてイラストなどを見て正しい対応を選んでいる。 (主学) 実際に大声を出したり、周囲の人に助けを求めたりしようとしている。	①お楽しみ会を計画しよう(Ⅰ) ・遊び大会やクッキング ②不審者対応避難訓練(Ⅰ) ・事後学習 ここからわーく ・生命の安全教室	①話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。 ②動画や視覚教材を見て、自分の身を守る方法について知る。 ・実際に大きな声を出したり、周囲の人に助けを求める練習をしたりして、不審者に会った時の対応の仕方を知る。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○算 A・数量基礎 「引き算」 B・測定 「くらべてみよう」 ○生 イ・安全 「安全について考えてみよう」 キ・手伝い・仕事 「自分から進んで係活動しよう」

	7月	2	①(知及技)他学年のことに ついて知ることができる。 (思判表力)他学年の友達と 仲良くしようとする気持ちを 表現することができる。 (学・人)他学年の友達と仲 良くすることができる。 ②(知及技)自分の頑張った ことを振り返ることができる。 (思判表力)夏休みの過ごし 方について、できるだけ自分 で考えることができる。 (学・人)夏休みにやりたい ことを発表することができ る。	①(知・技)他学年のことに ついて知っている。 (思・判・表)他学年の友達 と仲良くしようとする気持ち を表現している。 (主学)他学年の友達と仲良 くしようとしている。 ②(知・技)自分の頑張ったこ とを振り返ろうとしている。 (思・判・表)夏休みの過ご し方について考えている。 (主学)夏休みにやりたいこ とを発表しようとしている。	①学年紹介(1) ・児童集会のビデオを作 ろう。見よう。 ②1学期頑張った会 (1) ・個人目標振り返り ・夏休みの過ごし方につ いて ここからわーく ・プライベートゾーン	①児童集会に向けて学年 の紹介ビデオを作る。見 る。 ②個人目標の振り返り。 キャリアパスポート活 用。 ・夏休みの過ごし方につ いての話を聞く。やりた いことの発表。	○国 A・聞く・話 す B・書く C・読 む 「役割をもって伝え よう」 ○算 A・数量の基 礎 「引き算」 ○生 イ・安全 「安全について考え てみよう」 ア・基本的生活習 慣 「自分からやってみ よう」
	9月	3	①(知及技)2学期の学習内 容についての話を聞き、でき るだけ自分で考え、見通しを もつことができる。 (思判表力)2学期に頑張 りたいことを選ぶことができ る。 (学・人)自分なりにめあて を持ち、期待感をもって取り 組むことができる。 ②(知及技)他学年のことに ついて知ることができる。 (思判表力)他学年の友達と 仲良くしようとする気持ちを 表現することができる。 (学・人)他学年の友達と仲 良くしようとすることがで きる。	①(知・技)2学期の学習や 行事について見通しをもっ ている。 (思・判・表)2学期に頑張 りたいことを選んでいる。 (主学)自分なりにめあてを 持ち、期待感をもって取り組 もうとしている。 ②(知・技)他学年のことに ついて知っている。 (思・判・表)他学年の友達 と仲良くしようとする気持ち を表現している。 (主学)他学年の友達と仲良 くしようとしている。	①2学期頑張ろう会 (1) ・2学期の学習、行事に ついて知ろう ②学年紹介(1) ・児童集会で他学年の紹 介を見よう。	①2学期頑張ろう会で2 学期の行事や学習につ いての話を聞く。 ②児童集会で他学年の 紹介を見る。応援した り、みんなで歌ったりし て集会を盛り上げる。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよ う」 「話し合いをしよう」 ○算A・数量の基礎 「形をつくろう」 A・数と計算 「位置を表す言葉」 ○音 A・表現 「○季節の歌を歌お う」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の 生活」オ・人との関 わり「いろいろな人に 気持ちを伝えよう」 カ・役割 「自分の役割に組み 組もう」
	10月	4	①(知及技)修学旅行の日 程、場所、活動内容について 見通しをもつことができる。 (思判表力)公共機関を使う ときのルールやマナー、役割 などについて考えることが できる。 (学・人)自分のことは自分 でしようとして取り組むこと ができる。	①(知・技)修学旅行の日 程、場所、活動内容について 見通しをもとうとしている。 (思・判・表)公共機関を使 う時のルールやマナー、役割 などについて考えている。 (主学)自分のことは自分で しようとして取り組んでいる。	①修学旅行事前学習 (2) ・修学旅行について	①日程、活動内容、公共 機関を使う時のルールや マナー、係活動等につ いて学習する。 ・しおり作成、読み合 わせ。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよ う」 「話し合いをしよう」 ○算A・数量の基礎 「坂道をつくろう」 ○音 A・表現 「○まつりを楽しもう」 ○体育G・保健 「・自分の身体」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の 生活」 ケ・きまり 「マナーを守って行動し よう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみ よう」

2 学期	11月	4	①（知及技）経験したことを振り返ることができる。 （思判表力）自分たちのことを知ってもらおうと身振りや簡単な言葉で表現することができる。 （学・人）自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようすることができる。 ②（知及技）ネットやスマホを安全で便利に使うことができる。 （思判表力）ネットやスマホを安全に便利に使うための方法について考えることができる。 （学・人）ネットやスマホを使用し困った際に、困り感を教師に伝えることができる。 ③（知及技）地震津波が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 （思判表力）机の下に隠れる練習をしたり「おはしもち」が表す言葉表現することができる。 （学・人）落ち着いて避難しようとする態度をもつことができる。 ④（知及技）学習発表会の内容について知ることができる。 （思判表力）学習発表会の内容を確認しながら、表現活動に取り組むことができる。 （学・人）学習発表会の練習や準備でみんなと一緒に取り組もうとする態度をもつことができる。	①（知・技）経験したことを振り返ろうとしている。 （思・判・表）自分たちのことを知ってもらおうと身振りや簡単な言葉で表現しようとしている。 （主学）自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとしている。 ②（知・技）ネットやスマホとの付き合い方について知ることができる。 （思・判・表）ネットやスマホを安全に便利に使うための方法について考えている。 （主学）ネットやスマホを使用し困った際に、困り感を教師に伝えようとしている。 ③（知・技）地震津波が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 （思・判・表）机の下に隠れる練習をしたり「おはしもち」が表す言葉表現している。 （主学）落ち着いて避難しようとしている。 ④（知・技）学習発表会の内容について知っている。 （思・判・表）学習発表会の内容を確認しながら、表現活動に取り組んでいる。 （主学）学習発表会の練習や準備でみんなと一緒に取り組もうとしている。	①修学旅行事後学習（1） ・修学旅行を振り返り、思い出を伝えよう ②ネットやスマホの付き合い方（1） ・スマホの使い方について知ろう。 ③地震津波避難訓練（1） ・事後学習 ④学習発表会事前学習	①修学旅行の発表をする。紹介ビデオを作る。見る。 ②新聞等を活用し、身近に潜むネットやスマホの危険性や身体への影響について知る。 ・安全に便利に使うためには、どのような方法が良いか話し合う。 ③机の下に隠れる練習をしたり、「お・は・し・も・ち」について確認したりする。 ④学習発表会で全体の内容や自分の取り組むべきことを確認する。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」 ○算 A・数と計算 「くらべてみよう」 ○生ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ケ・きまり 「マナーを守って行動しよう」
	12月	3	①（知及技）教師と一緒に自分の頑張ったことを振り返ることができる。 （思判表力）身振りや簡単な言葉で2学期に頑張ったことを表現することができる。 （学・人）がんばったことをみんなに伝えようすることができる。 ②（知及技）話し合いを行い、計画を立てることができる。 （思判表力）お楽しみ会の内容を選ぶことができる。 （学・人）友達と関わりながら参加しようすることができる。 ③（知及技）学習発表会での内容を視覚的に確認し、思い出すことができる。 （思判表力）学習発表会の振り返りを行い、簡単な言葉や身振りで感想発表をすることができる。 （学・人）振り返り活動に参加しようとする態度をもつことができる。	①（知・技）2学期に頑張ったことを振り返ることができる。 （思・判・表）身振りや簡単な言葉で2学期に頑張ったことを表している。 （主学）がんばったことをみんなに伝えようとしている。 ②（知・技）話し合い、計画を立てることができる。 （思・判・表）お楽しみ会の内容を選んでいる。 （主学）友達と関わりながら参加しようとしている。 ③（知・技）学習発表会での内容を視覚的に確認し、思い出している。 （思・判・表）学習発表会の振り返りを行い、簡単な言葉や身振りで感想発表をしている。 （主学）振り返り活動に参加しようとしている。	①2学期頑張った会（1） ・個人目標振り返り ②お楽しみ会を計画しよう（1） ・遊び大会やクッキング ③学習発表会事後学習 ここからわーく エイズデー（感染症予防、咳エチケット、手洗い）	①個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用。2学期頑張った会で発表する。 ②話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。 ③取り組んだことを振り返り、印象に残ったことを発表する。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」 「話し合いをしよう」 ○算A・数量の基礎 「時計の読み方」 C・測定 「かさ」をはかる ○音 A・表現 「音楽に合わせて身体を動かそう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 キ・手伝い・仕事 「自分から進んで係活動しよう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」

3 学 期	1月	3	①(知及技)3学期の学習内容についての話を聞き、できるだけ自分で考え、見通しを持つことができる。 (思判表力)3学期に頑張りたいことを選ぶことができる。 (学・人)自分なりにめあてを持ち、期待感をもって取り組むことができる。 ②(知・技)火災が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 (思判表力)煙を吸わないように避難する練習をしたり、「おはしもち」が表す言葉を簡単な言葉や身振りで表現することができる。 (学・人)教師の話を聞きながら、安全に避難することができる。	①(知・技)3学期の学習や行事について見通しをもっている。 (思・判・表)3学期に頑張りたいことを選んでいる。 (主学)自分なりにめあてを持ち、期待感をもって取り組もうとしている。 ②(知・技)火災が起こった場合の避難の仕方について知っている。 (思・判・表)煙を吸わないように避難する練習をしたり、「おはしもち」が表す言葉を簡単な言葉や身振りで表現している。 (主学)教師の話を聞きながら、安全に避難しようとしている。	①3学期頑張ろう会(1) ・3学期の学習、行事について知ろう ②火災避難訓練(1) ・事後学習	①3学期頑張ろう会で3学期の行事や学習についての話を聞く。 ②煙を吸わないように避難する練習をしたり、「お・は・し・も・ち」について確認したりする。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 「話し合いをしよう」 ○算A・数量の基礎 「しらべよう」 A・数の計算 「絵や表にして計算しよう」 ○音 A・表現 「お正月の歌」 ○生イ・安全 「安全について考えてみよう」 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 カ・役割 「自分の役割に取り組もう」
	2月	4	①(知及技)児童会役員の心得などを知り、児童会への関心を高める。 (思判表力)児童会役員として頑張りたい人を選ぶことができる。 (学・人)児童会選挙の活動を見て、自分から感じたことを伝えることができる。	①(知・技)児童会役員の心得などについて知っている。 (思・判・表)児童会役員として頑張りたい人を選んでいく。 (主学)児童会選挙の活動を見て、自分から感じたことを伝えようとしている。	①児童会選挙(1) ・事前 ・児童会引き継ぎ式、任命式	①児童会役員選挙について	○国 A・聞く・話す B・書く「役割をもって伝えよう」 ○算A・数量の基礎 「絵や表にして計算しよう」 ○音 A・表現 「言葉のリズムで遊ぼう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ○図 A・表現 「作ってみよう」
	3月	2	①(知及技)めあてをもち、取り組むことができる。 (思判表力)今まで関わってきた先生達に簡単な言葉や身振りで感謝の気持ちを表現することができる。 (学・人)感謝の気持ちをもち、会に参加することができる。 ②(知及技)1年間で自分の頑張ったことを振り返ることができる。 (思判表力)身振りや簡単な言葉で1年間で頑張ったことを表現することができる。 (学・人)がんばったことをみんなに伝えようとしている。 ③(知及技)話し合いを行い、計画を立てることができる。 (思判表力)お楽しみ会の内容を選ぶことができる。 (学・人)友達と関わりながら参加しようとする。 ④(知及技)小学校と中学校の違いに気付くことができる。 (思判表力)中学校生活に向けた願いや目標を考えることができる。 (主学)中学校進学に向けて希望や目標をもって取り組むことができる。	①(知・技)めあてをもち、取り組んでいる。 (思・判・表)今まで関わってきた先生達に簡単な言葉や身振りで感謝の気持ちを表現している。 (主学)感謝の気持ちをもち、会に参加しようとしている。 ②(知・技)1年間で自分の頑張ったことを振り返っている。 (思・判・表)身振りや簡単な言葉で1年間で頑張ったことを表現している。 (主学)がんばったことをみんなに伝えようとしている。 ③(知・技)お楽しみ会について話し合い、計画を立てることができる。 (思・判・表)お楽しみ会の内容を選んでいる。 (主学)友達と関わりながら参加しようとしている。 ④(知・技)小学校と中学校の違いに気付いている。 (思・判・表)中学校生活に向けた願いや目標を考えている。 (主学)中学校進学に向けて希望や目標を持って取り組んでいる。	①6年生を送る会 ・会に参加する ②1年間を振り返ろう(1) ・1年間の振り返り ・個人目標振り返り ③お楽しみ会を計画しよう(1) ・遊び大会やクッキング ④もうすぐ中学生 ・中学生になったの目標を決める。 (1)	①送る会の内容や係分担について話し合い、めあてをもって活動する。 ・今まで関わってきた先生達に感謝の気持ちを伝える。 ②個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用 ・6年生頑張った会に参加し1年間で頑張ったことを発表する。 ③話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する ④小学校と中学校生活の違いを知る ・小学校生活を振り返って自己評価を行うことで自分の成長に気づき、中学校生活に向けた願いや目標を考える。 ・卒業式に向けて気持ちを高め、自分なりのめあてをもつ。	○国 A・聞く・話す B・書く C・読む 「役割をもって伝えよう」 ○算 A・数量の基礎 「記録しよう」 A・数の計算 「絵や表にして計算しよう」 ○音 A・表現 「合奏を楽しもう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 キ・手伝い・仕事 「自分から進んで係活動しよう」 カ・役割 「自分の役割に取り組もう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」
留意点 引継等							
評価方法			・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
280	4名		ワークシート せいかつ☆☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4 月	23	(知及技) 簡単な日課について、関心をもつ。 【ウー (イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。 【ウー (ア)】 (学・人) 日課に沿って教師と一緒に学習し、自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとする。	(知・技) 簡単な日課について、関心をもっている。 (思・判・表) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に日課に沿って行動している。 (主学) 日課に沿って教師と一緒に行動しようとしたり、自分のことに取り組もうとしたりしている。	日課・予定 ①身の回りの簡単な日課 (年間を通して)	1 学校生活の日課に従って行動する。 2 カレンダーや予定表を見て、簡単な見通しをもつ。	国「説明文を読む」 算「しらべよう」
	5 月	26	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつ。【カー (イ)】 (思判表力) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとする。 【カー (ア)】 (学・人) 様々な集団活動に教師と一緒に参加し、役割を果たすことで生活を豊かにしようとする。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもっている。 (思・判・表) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとしている。 (主学) 様々な集団活動に教師と一緒に参加し、役割を果たそうとする。	役割 ①共同での作業と役割分担 ②ここからワーク (人との距離) ③ここからワーク (プライベートゾーン) (年間を通して) ④キャリアパスポート	1 日直、給食当番、掃除当番等の係活動をする。 2 簡単な作業を分担して行う。	
	6 月	28	(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつ。【コー (イ)】 (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 【コー (ア)】 (学・人) 自分の家族や近隣、公共施設について関心をもって学習に取り組もうとする。	(知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもっている。 (思・判・表) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 自分の家族や近隣、公共施設について関心をもって学習に取り組んでいる。	社会の仕組みと公共施設 ①家族・親戚・近所の人 ②学校 ③公共施設の利用 (年間を通して)	1 家族と自分との関わりに気付く。 2 自分に身近な先生が分かる。 3 学校近隣にある店に関心をもつ。 4 公共施設を利用する。 5 目的地に行くための交通機関を知る。	

	7月	24	(知及技) 身の回りにある生命や自然について関心を持つ。【サ- (イ)】 (思判表力) 身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。【サ- (ア)】 (学・人)	(知・技) 身の回りにある生命や自然について関心を持っている。 (思・判・表) 身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学)	生命・自然 ①生きものをさがそう・かんさつしよう ・ひみつはっけん ・つたえよう ②たねをまこう・そだてよう ・よく見よう ・つたえよう (たねや花、実) ※季節に応じた生きもの (チョウ、おたまじゃくしなど)、植物 (ひまわり、ホウセンカ、じゃがいも、トマト)	1 野外に出向き、教師と一緒に生きものを探す。 活動中の注意点を確認 (扱い方等) 2 教室での観察、飼育・色、形、大きさ等のマッチングや選択 ・支援を受けながら動画や写真に注目し、特徴や変態のようすを見る。 3 いろいろなたねを比べる (大きさや形のマッチング、選択) 4 成長の様子を教師と一緒に観察する (色、形、大きさ、触った感じ、花や実の数等を選択、マッチング) 5 伝え合う (絵カードで選択)	国「お店の人に聞いてみよう」 算「金銭」 「くらべてみよう」 図「描いてみよう」
	9月	28	(知及技) 金銭の扱い方などに関心をもつ。【ク-(イ)】 (思判表力) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとする。【ク-(ア)】 (学・人) 金銭の扱い方に関心をよせ、金銭を扱おうとする。	(知・技) 金銭の扱い方などに関心をもっている。 (思・判・表) 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。 (主学) 金銭の扱い方に関心をよせ、教師と一緒に金銭を扱おうとしている。	金銭の扱い ①金銭の扱い (年間を通して)	1 金銭を大切に扱う。 2 買い物をする。 3 自動販売機を使う。	国「お店の人に聞いてみよう」 算「金銭」 「くらべてみよう」 図「描いてみよう」
	10月	28	(知及技) 教師と一緒に修学旅行の日程、場所、活動内容について知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に公共機関を使う時のルールやマナー、役割などについて考えることができる。 (学・人) 教師と一緒に自分のことは自分でしようと取り組もうとする。	(知・技) 教師と一緒に修学旅行の日程、場所、活動内容について理解している。 (思・判・表) 教師と一緒に公共機関を使う時のルールやマナー、役割などについて考えている。 (主学) 教師と一緒に自分のことは自分でしようと取り組んでいる。	社会の仕組みと公共施設 ①修学旅行 ・事前学習	1 日程、活動内容、公共機関を使う時のルールやマナー、係活動等について学習する。 ・しおり作成、読み合わせ。 ・身体各部位の名前 ・入浴時に身体各部の洗い方やふき方が分かる。	○国 A・聞く・話す B・書く 「役割をもって伝えよう」 「話し合いをしよう」 ○算A・数量の基礎 「坂道をつくろう」 ○音 A・表現 「○まつりを楽しもう」 ○体育G・保健 「・自分の身体」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 ケ・きまり 「マナーを守って行動しよう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」
2学期	11月	29	(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつ。【コー (イ)】 (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 【コー (ア)】 (学・人) 自分の家族や近隣、公共施設について関心をもって学習に取り組もうとする。	(知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもっている。 (思・判・表) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 自分の家族や近隣、公共施設について関心をもって学習に取り組んでいる。	社会の仕組みと公共施設 ①いろいろな店 ②社会の様子 (年間を通して) ③修学旅行事後学習	1 学校近隣にある店に関心をもつ。 2 公共施設を利用する。 3 目的地に行くための交通機関を知る。	

	12月	24	(知及技) 簡単な手伝いや仕事について知る。【キー(イ)】 (思判表力) 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとする。【キー(ア)】 (学・人) 教師の援助を求めながらもすすんで手伝おうとし、生活に生かそうとする。	(知・技) 簡単な手伝いや仕事について知っている。 (思・判・表) 教師の援助を求めながら身近で簡単な手伝いや仕事をしようとしている。 (主学) 教師の援助を求めながらもすすんで手伝おうとし、生活に生かそうとしている。	手伝い・仕事 ①ホットケーキやピザトーストを作ろう ②わたしのお弁当	1 教師の支援を受けながら材料の準備、手順の確認、道具や器具の扱い方、作業分担を確認し、活動への見通しを持つ。 2 自分の役割が分かり、教師の支援を受けながら調理活動を手伝う。 3 会食をする。 4 教師の支援を受け、友達と協力しながら簡単な後片付けを行う。 5 朝ご飯や弁当のメニューを考えよう(選択)	国 言語活動(材料名、道具名、活動を表す動詞、ようすを表すことばなど)、「さつまいも」「つたえよう」算「数と計算」「測定」
3 学 期	1月	24	(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつ。【コー(イ)】 (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 【コー(ア)】 (学・人) 自分の家族や近隣、公共施設について関心をもって学習に取り組もうとする。	(知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもっている。 (思・判・表) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 自分の家族や近隣、公共施設について関心をもって学習に取り組んでいる。	社会の仕組みと公共施設 ①公共施設の利用(年間を通して)	1 公共施設(消防署等)を訪問したり、見学したりして、その仕事の様子に気付く。 2 目的地に行くための交通機関を知る。	
	2月	23	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつ。【シー(イ)】 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。【シー(ア)】 (学・人) 物の重さに関する学習活動に関心をもって取り組もうとする。	(知・技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもっている。 (思・判・表) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとしている。 (主学) 物の重さに関する学習活動に関心をもって取り組もうとする。	ものの仕組みと働き ①風やゴムの力の働き(年間を通して)	1 物には重いものと軽いものがあることに気付く。 2 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ。	国「図書室へ行ってみよう」算「くらべてみよう」「かさ」をはかろう」図「作ってみよう～動くオモチャ～」
	3月	23	(知及技) 簡単なきまりのあるあそびについて知る。【エー(イ)】 (思判表力) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりする。 【エー(ア)】 (学・人) きまりやルールのある遊びを通して遊びへの関心を広げ、教師や友達へ働きかけながら楽しく遊ぼうとする。	(知・技) 簡単なきまりのあるあそびについて知っている。 (思・判・表) 身近な遊びの中で、教師や友達と簡単なきまりのある遊びをしたり、遊びを工夫しようとしたりしている。 (主学) きまりやルールのある遊びを通して遊びへの関心を広げ、教師や友達へ働きかけながら楽しく遊ぼうとしている。	遊び 1 なにして遊ぶ? 2 ルールをまもってあそぼう 3 あそびおわったら 4 もっとたのしくできるかな (年間を通して)	1 遊び(活動例: 的当て遊び)の挿絵を見て、遊びの簡単なきまりに気づく(交代する・順番を守る・並んで待つ等)。 2 遊びのルールに気づく(鬼ごっこなど)。 3 今までしたことのある遊びや、これからしてみたい遊びについて選択肢から選ぶ。	生活「けきまり」特活「お楽しみ会」体育「ボールを使った運動やゲーム」
留意点 引継等		・単元内容によって教科書(生活☆☆)を使用する。					
評価方法		・三観点の確認　・行動観察　・授業に対する取り組み姿勢					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
140	4名		こくご☆☆☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉 が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる ようにする。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができる ようにする。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	13	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることができる。 【ア－(ア)】 (思判表力) 教師の支援を受けながら身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。【A－イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。 (Ⅰ段階)	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることができる。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	○かんげいかい (★★★P6) ・はじめのことば ・かんげいのことば ・じこしょうかい ・こえをだそう ・こえの大きさ ○朝の会・帰りの会 ○図書室オリエンテーション ○本を借りよう	・自己紹介では、相手に対して、音声模倣などによる発声や発語、絵カードや写真などの手がかりによって、自分なりの表現をして伝える。 ・役割に応じて話す順番などを検討し、教師と一緒に相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。 ・会の進行を務める ・話し手に注目し、質問に応じて答える。	算数 「さわってみよう、探してみよう」 音楽 「どんなうたがあるかな」 特別の教科 道徳 「友達と仲よく」 特別活動 「どうぞよろしくね会」
	5月	13	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることができる。【ア－(ア)】 (思判表力) 教師の支援を受けながら身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。【A－イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。 (Ⅰ段階)	(知・技) 教師と一緒に身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることができる。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	○かんげいかい (★★★P6) ・はじめのことば ・かんげいのことば ・じこしょうかい ・こえをだそう ・こえの大きさ ○朝の会・帰りの会 ○本を借りよう	・自己紹介では、相手に対して、音声模倣などによる発声や発語、絵カードや写真などの手がかりによって、自分なりの表現をして伝える。 ・役割に応じて話す順番などを検討し、教師と一緒に相手への伝わりやすさを意識して声の大きさに気をつけて話す。 ・会の進行を務める ・話し手に注目し、質問に応じて答える。	算数 「さわってみよう、探してみよう」 音楽 「どんなうたがあるかな」 特別の教科 道徳 「友達と仲よく」 特別活動 「どうぞよろしくね会」
	6月	13	(知及技) 遊びを通して、教師の支援を受けながら言葉のもつ楽しさに触れること。【イ－(イ)】 (思判表力) 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、教師の支援を受けながら登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。【C－エ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。 (Ⅰ段階)	(知・技) 遊びを通して、教師の支援を受けながら、言葉のもつ楽しさに触れることができる。 (思・判・表) 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、教師の支援を受けながら登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	○三びきのこぶた (★★★P22) ○本をかりよう ○平和学習	・役割を決めて、演じる。教師と一緒に呼びかけに対する応答遊び、音まね・声まね遊び等の遊びを通して表現し、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりする。 ・平和に関する本の読み聞かせを聞く。感じたことを言葉や身振りで表現する。	算数 「パズルをやってみよう」 図画工作 「作ってみよう」 特別の教科 道徳 「日頃お世話になっている人」 特別活動 「係の仕事しよう(Ⅰ)」

	7月	13	(知及技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【イー(エ)】 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【C-ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	○絵本を読もう ・プレーメンの町のおはなし(★★★P66)	・教師が読み聞かせを行い、「この動物はなに」等と問いかける。 ・動物の動作や鳴き声などを模倣する。 ・お面やペープサートなどを用い、動物役を決め、物語を再現して楽しむ。 ・写真カードや動物の鳴き声で動物当てゲームをしながら、様々な動物の名前等を言う。	算数 「見た目の大きさを分けてみよう」 図画工作 「作ってみよう」
	9月	13	(知及技) 昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。【イー(ア)】 (思判表力) 教師の話や読み聞かせに応じ音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。【A-ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階) きる。	(知・技) 昔話などについて、教師の支援を受けながら読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 (思・判・表) 教師の話や読み聞かせに応じ、教師の支援を受けながら音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	○おかしばなし ・おじいさんとねずみのはなし(★★★P46) ○読書月間 ・絵本を見よう ・好きな本をしようかいしよう	・言葉とイラストを結びつけながら、場面毎に内容の確認をする。 ・物語の一場面を簡単な言葉で表現する。 「ころころ」「まてまて」「でろでろ」など。 ・擬音や擬態語を身振りで表現して楽しむ。 ・読書月間での催しに参加する。	算数 「おなじ大きさで合わせてみよう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「いつも素直に」 特別活動 「お祝いしよう(1)」
	10月	13	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。【アー(ア)】 (思判表力) 絵や矢印などの記号で表された意味に応じ、行動することができる。【C-ウ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思・判・表) 絵や矢印などの記号で表された意味に関心を向け、行動することができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	○修学旅行事前学習 ・工程表やしおりを作ろう ・司会や発表の練習をしよう ○読書月間 ・絵本を見よう ・好きな本をしようかいしよう	・絵や矢印を使って工程表を作る。 ・しおりを作る。 ・グループに分かれ司会や発表の練習をする。	算数 「おなじものをさがそう」 特別の教科 道徳 「きまりを守って」 行事 「11月5日、6日修学旅行」
2学期	11月	13	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。【アー(ア)】 (思判表力) 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【A-ウ】 (思判表力) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。【C-イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じることができる。 (思・判・表) 伝えたいことを思い浮かべ、教師と一緒に身振りや音声などで表すことができる。 (思・判・表) 絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	○修学旅行事後学習 ・楽しかったことを思い出して、発表しよう。 ○学習発表会 ・舞台発表に向けて練習をしよう	・修学旅行の写真などを見ながら、行事を振り返る。楽しかった古茶頑張ったことを発表する。 ・生活発表や劇など、学習発表会でやりたい内容を話し合う。 ・役割分担をする。 ・発表に向けて練習をする。	算数 「いろいろな形をみつつけよう」 図画工作 「作ってみよう」 行事 「11月5日、6日修学旅行」 「12月4日学習発表会」

	12月	13	(知及技) いろいろな筆記具触れ、書くことを知ることができる。【イー(ウ)⑦】 (知及技) 筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。【イー(ウ)⑧】 (思判表力) 文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。【ビー】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 教師の支援を受けながらいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 (知・技) 教師と一緒に筆記具を持ったり、正しい姿勢で書くことを見たり聞いたりすることができる。 (思・判・表) 文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	○かいてみよう ・ぐるぐる、ぎざぎざ、ざあざあ ・年賀状	・クレヨンやフェルトペンで塗り絵をしたり、自由に書いたりして線が書けることに気付くようにする。 ・鉛筆、クレヨン、フェルトペン、筆等、様々な筆記具に触れる。 ・筆記具の持ち方や正しい姿勢についての話や写真などを見たり聞いたりする。 ・年賀状に関連する言葉を聞いたり、ぐるぐる、ギザギザ、ざあざあ等いろいろな線で絵を表現したりする。	算数 「大きさの違うものを運んでみよう」 図画工作 「描いてみよう」 体育 「サーキット」 特別の教科 道徳 「いろいろな挨拶②」 特別活動 「2学期頑張った会(1)」 行事 「12月4日学習発表会」
	1月	12	(知及技) 教師と一緒にいろいろな筆記具触れ、書くことを知ることができる。【イー(ウ)⑦】 (知及技) 筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。【イー(ウ)⑧】 (思判表力) 文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。【ビー】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 教師と一緒にいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 (知・技) 教師と一緒に筆記具を持ったり、正しい姿勢で書くことを見たり聞いたりすることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ろうとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	○かいてみよう ・すみあそび	・鉛筆、筆等の筆記具に触れる。 ・筆で自由に線や文字を書く。	算数 「大きさの違うものを運んでみよう」 図画工作 「描いてみよう」 体育 「サーキット」 特別の教科 道徳 「いろいろな挨拶②」
3学期	2月	12	(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。【アー(イ)】 (思判表力) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。【ビーア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思・判・表) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	○言葉で遊ぼう ・カルタ(絵カードえらび)	・6枚ほど広げた絵カードの中から、教師が示した絵カードを選ぶ。(カルタのように) ・絵や写真等を見ながら、教師の発問を聞き、言葉や動作で自由に表現したり、提示された実物や写真、絵カードを選んだり指さしたりして繰り返しやりとりをする。 ・絵を見ながら、教師の音声を模倣してみたり、教師と一緒に言葉で表現してみたりする。	算数 「パズルをやってみよう」 図画工作 「作ってみよう」 特別の教科 道徳 「日頃お世話になっている人」 特別活動 「係の仕事しよう(1)」

	3月	12	（知及技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【イー（エ）】 （思判表力）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【A-ウ】 （思判表力）絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。【C-イ】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。（I段階）	（知・技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 （思・判・表）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 （思判表力）絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	○話してみよう ・がっこうせいかつをふりかえろう ・卒業式に向けて（答辞）	・教師が言った事物を表す絵カードに視線や意識を向けたり、指さしをしたりする。 ・写真を見ながら、楽しかったことや頑張ったことを発表する。 ・卒業式の答辞の練習をする。	算数 「おなじ大きさで合わせてみよう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「いつも素直に」 特別活動 「お祝いしよう（I）」
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認　・授業に取り組む姿勢　・課題の処理意欲　・態度　・理解度　・習得度　・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
105	4名		さんすう☆

		年間目標					
		(知及び技) 知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに 現力等 気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性等	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	7	※全ての目標において、「教師と一緒に」の文言を文頭に付ける。 (知及技) 分割した絵カードを組み合わせることができる。(Aイ(ア)イ) ・関連の深い絵カードを組み合わせることができる。(Aイ(ア)ウ) (思判表力) もののものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすることができる。(Aイ(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	※全ての評価規準において、「教師と一緒に」の文言を文頭に付ける。 (知・技) 分割した絵カードを組み合わせている。 ・関連の深い絵カードを組み合わせている。 (思・判・表) もののものとを関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現している。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P22 ・あわせましょう①② ☆本P26 ・なかまをあつめましょう	あわせましょう①② ・興味関心のもてるイラストを提示し、簡単な2分割からスタートし、3分割、4分割と難易度を挙げて絵カードを組み合わせる学習を行う。 ・縦分割、横分割の組み合わせに取り組み、どこに視点を当てていいのか具体物を操作しながら体験的な学習を行う。それぞれの絵カードの情報を読み取り、着目した視点について振り返る。 なかまをあつめましょう ・なじみのある食べ物や乗り物、動物などを性質や用途、所属などのいろいろな属性で仲間分けする学習を行う。 ・教室にある物や身近にある物、人等に視点を向けるように促し、自分で決めた属性で仲間分けをする学習を行う。	
	5月	8	(知及技) 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すことができる。(Bア(ア)イ) ・5までの範囲で数唱をすることができる。(Bア(ア)ウ) (思判表力) 数詞のものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	(知・技) 目の前のものを、1個、2個、たくさんで表している。 ・5までの範囲で数唱している。 (思・判・表) 数詞のものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P30 ・いち、に、たくさん ☆本P32 ・いち、に、さん、し、ご	いち、に、たくさん ・たくさんの中のボールの中から自分でボールを取り出し、的当てやゲームなどを通して1個や2個、たくさんを表現できる活動を行う。 いち、に、さん、し、ご ・教師や友達の数合図に合わせて、好きなものや興味のある物を操作し、「自分で数えている」と実感できる活動を行う。 ・遊びなどを通して、手を叩いたり、物で音を鳴らしたりしてリズムよく唱える活動を行う。	
	6月	10	(知及技) 3までの範囲で具体物をとることができる。(Bア(ア)エ) ・対応させてものを配ることができる。(Bア(ア)オ) (思判表力) 数詞のものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	(知・技) 3までの範囲で具体物をとっている。 ・対応させてものを配っている。 (思・判・表) 数詞のものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P34 ・とりましょう ☆本P36 ・まーくに、あわせて、ならべましょう	とりましょう ・興味の持てそうなお店屋さん(おもちゃやお菓子等)での買い物遊びを通して、いくつかの品物から3までの範囲で具体物をとる活動を行う。 まーくに、あわせて、ならべましょう ・ボウリングや的当て等の遊びの中でマークを手がかりに必要な物を置く活動を行う。 ・当番活動(プリントや牛乳等)をマークを手がかりに行う。	

	7月	8	(知及技) 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くことができる。(Bア(ア)カ) (思判表力) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	(知・技) 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付いている。 (思・判・表) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P44 ・ぜんぶ、「さん」	・教室にあるもので「3」個を探して種類や向きが変わっても数が変わらないことに注目する活動を行う。 ・教室外に出て、校内で「3」個のものを探して違う角度から写真を撮っても、数が変わらないことに注目する活動を行う。 ・1学期で学習したことを振り返る。	
	9月	12	(知及技) 形を観点に区別することができる。(Cア(ア)イ) (思判表力) 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物をとらえることができる。(Cア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	(知・技) 形を観点に区別している。 (思・判・表) 対象物に注意を向け、対象物の存在に気付き、諸感覚を協応させながら具体物をとらえている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P48 ・かたちを、つくりましょう ☆本P50 ・かたちを、あわせましょう	かたちを、つくりましょう ・粘土を使って、自分で形を変えることに興味を持つ活動を行う。 ・手のひらを使って、丸めたり、押しつぶして平らにしたり、伸ばしたりして形の変化を楽しむ活動を行う。 ・型抜きを使って、色々な形をかたどったり、同じ形を何個も作ったりして形の違いや似ているものに注目する活動を行う。 かたちを、あわせましょう ・丸や三角の具体物を使用し、実際に触れながら形の違いを感じ形を合わせる活動を行う。	
	10月	12	(知及技) 形が同じ物を選ぶことができる。(Cア(ア)ウ) (思判表力) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。(Cア(イ)イ) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	(知・技) 形が同じ物を選んでいる。 (思・判・表) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもっている。 (主学) 教師の働きかけで学習に取り組んでいる。 ・教師と共に学習に取り組んでいる。 ・日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	☆本P54 ・おなじかたちを、みつけましょう ☆本P48 ・おなじかたちを、えらびましょう	おなじかたちを、みつけましょう ・段ボールや積木などを使って、同じ形の物や違う形の物を並べたり、積み上げたりし、遊びながら形の選択を促す活動を行う。 おなじかたちを、えらびましょう ・教科書の透明シートの操作を行い、はめ板とピースを重ね合わせて、同じ形であると認識させる。その後型はめ教材を使用し、型はめを行う。	
2学期	11月	11	(知及技) 似ている二つのものを結び付けることができる。(Cア(ア)エ) ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせたことができる。(Cア(ア)オ) (思判表力) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。(Cア(イ)イ) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	(知・技) 似ている二つのものを結び付けようとしている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせたようとしている。 (思・判・表) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもっている。 (主学) 教師の働きかけで学習に取り組んでいる。 ・教師と共に学習に取り組んでいる。 ・日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	☆本P62 ・にているものを、みつけましょう ☆本P64 ・そろえましょう	にているものを、みつけましょう ・ボールを使ったスロープ遊びやボウリングを通して、この形は「転がる」という視点を持てるような授業展開を行う。形を大まかに捉え、同じか同じでないかを区別できるようにする。 そろえましょう ・自分が実際に身に着けているものやかばんに入っているものを活用しながら、対になっていることを学習する。 ・カードを使い、対になっているかを推測する学習を行う。	

	12月	9	（知及技）同じもの同士の集合づくりをすることができる。（Cア（ア）㉔） （思判表力）ものどもの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かすことができる。（Cア（イ）㉔） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。関心や興味を示さなくても課題に取り組もうとしている。	（知・技）同じもの同士の集合づくりをすることができる。 （思・判・表）ものどもの関係に注意を向け、ものの属性に気付き、関心をもって対応しながら、表現する仕方を見つけ出し、日常生活で生かしている。 （主学）教師の少ない働きかけて学習に取り組んでいる。教師と共に学習に取り組んでいる。日常生活や当番活動に学んだことを活用している。	☆本P66 ・おなじかたちを、あつめましょう	・三角柱や四角柱などの積み木を使って、同じ形の仲間分けを行う。最初は、個数を少なくし、徐々に数や形の種類を増やして、「同じ」や「違う」の区別ができていくか確認できる活動を行う。 ・2学期で学習したことを振り返る。	
3学期	1月	11	（知及技）大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別することができる。（Dア（ア）ア） （思判表力）大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。（Dア（イ）ア） （学・人）、身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	（知・技）大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別している。 （思・判・表）大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 （主学）身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆P70～71 ・おなじ、ちがう	・2つの具体物をよく観察し、「同じである」「同じではない」部分に注目できるように注目したり、触ったりして判断する。 ・「同じである」「同じではない」ことを、用語「同じ」「違う」を用いて表現する。 ・複数の具体物の中から同じ物を選ぶ、探す。 ・大小や多少等で区別することに関心を持つ。	
	2月	11	（知及技）大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別することができる。（Dア（ア）ア） ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目して表現することができる。（Dア（ア）イ） （思判表力）大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。（Dア（イ）ア） （学・人）、身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	（知・技）大きさや長さなどを基準に対して同じか違うかによって区別している。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ない、などの用語に注目している。 （思・判・表）大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 （主学）身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆P72 ・おおきい、ちいさい①②	・子どもと大人の服を着たり、合わせたりして大きさの違いを確認する。 ・教科書のように粘土や砂を使って、実際に大きさの違いを目で見て確認しやすい活動を行う。 ・生活経験などをおして「大きい」と認識していると思われるもの（乗り物や建物など）を動画や画像で見る。 ・大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」に区別し、用語を用いる。（玩具のバスや本物のバス等）	国語「相手の気持ちを考えてみよう」 体育「的当てゲーム」
	3月	6	（学・人）、身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	（主学）身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味を持ち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆P76 ・おおきい、すくない①② ☆P80 ・ながい、みじかい	おおきい、すくない ・同じ大きさのコップに水やジュースを入れたり、給食の量で違いを示したりして視覚的に判断できるような活動を行う。 ながい、みじかい ・具体物を使ったおもちゃやゲームなどを通して楽しみながら長さの学習を行う。 ・1年間で学習したことを振り返る。	体育「ボールを使った運動やゲーム」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度 ・行動観察 ・プリント					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	4名		おんがく☆☆☆

			(知及び技) 知識及び技能	曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学 期	4月	6	(知及技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したり、歌ったりする。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 教師の師範を見て、教師と一緒に音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の方法で表現する。(Ⅰ段階Aア) (学・人) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりする。(Ⅰ段階)	(知・技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したり、歌ったりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の方法で表現している。 (主学) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりしている。	○季節の歌を歌おう(歌) ・ゆかいなまきば ・パレード ○いろいろなリズム(器・音) ・ミッキーマウスマーチ ・あさまでサンバ ○音楽に合わせて踊ろう(身・鑑) ・おどろうたのしいポーレチケ	・教師の支援を受けながら、楽器の名前を知る。 ・歌詞に合った身体表現を教師と一緒に、身体表現をする。 ・教師と一緒に教科書のイラストを見て、曲や活動のイメージをもつ。	国「役割をもって伝えよう」 体「体づくり運動」 「表現運動」 特「学年・学級開き」
	5月	6	(知及技) 歌や音楽を聴いて、教師と一緒に歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりする。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 教師の師範を見て、教師と一緒に音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の方法で表現する。(Ⅰ段階Aア) (学・人) 教師と一緒に、拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 歌や音楽を聴いて、教師と一緒に歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりしている。 (思・判・表) (思判表力) 教師の師範を見て、教師と一緒に音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の方法で表現している。(Ⅰ段階Aア) (主学) 教師と一緒に、拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとしている。	○盛り上がりを感じて歌おう(歌) ・にじ ○わらべうた(歌・身) ・おしくらまんじゅう ○いろいろなリズム(器・身) ・たのしいね	・リズムや速度の面白さに気付く。 ・教師の伴奏に合わせて歌ったり、体を動かしたり、声を出したりする。	体「表現運動」 特「学年紹介」
	6月	6	(知及技) 歌や音楽を聴いて、教師と一緒に歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりする。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に歌に合わせて楽器を鳴らそうとする。(Ⅰ段階Aア) (学・人) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりしようとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 歌や音楽を聴いて、教師と一緒に歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に歌に合わせて楽器を鳴らそうとしている。 (主学) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりしようとしている。	○身振りをつけてみんなで歌おう(歌・身) ・さんぽ ・せかい中の子どもたちが ○ドレミの音で遊ぼう(器) ・かえるのがっしょう ○リズムをつくろう(音) ・雨の音がくをつくろう	・歌詞に出てくる情景や生き物等を知る。 ・教師と一緒に音楽が流れる中で、楽器の音を出す。 ・教師と一緒に楽器を使って、雨の音を表現する。 ・教師と一緒に歌詞に出てくる言葉に合わせた動作をする。	生「生命・自然」 国「リズムに親しもう」 体「表現運動」 道「自然とふれ合う」

2 学 期	7月	6	(知及技) 声を出したり、教師と一緒にメロディーや歌詞を意識して歌ったりする。(1段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に鍵盤楽器を好きのように鳴らす。(1段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。(1段階)	(知・技) 声を出したり、教師と一緒にメロディーや歌詞を意識して歌ったりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に鍵盤楽器を好きのように鳴らしている。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○みんなで歌おう(歌・身) ・ぼくのミックスジュース ○ドレミの音で遊ぼう(器) ・きらきらぼし ○どんな音やリズムが聞こえてくるかな(鑑) ・シンコペイテッドクロック	・教師や友達と交互唱をする。 ・教師と一緒に鍵盤楽器を演奏する。 ・ウッドブロックとトライアングルの音を聴き比べ、楽器の音色やリズムを感じながら聴く。	国「お店の人に聞いてみよう」 図「七夕飾り」
	9月	9	(知及技) 音楽が流れる中で、教師と身体表現する。(1段階Aア) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現する。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組む。(1段階)	(知・技) 音楽が流れる中で、教師と身体表現している。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○季節の歌を歌おう(歌) ・あきの子 ・修学旅行の替え歌 ○まつりを楽しもう(エイサー)(器・音・身) ・唐船ドイ ○音をつくろう(器・音) ・たたたん びよん ○物語の音楽を楽しもう(鑑) ・サウンドオブミュージック	・教師と一緒に教科書の絵や動画を見ながら様子を思い浮かべて聴くようにする。 ・パーランクーの叩き方を知り、教師と一緒に曲に合わせて叩く。 ・教科書の写真や大きな写真、イラストを用い、情景やストーリーをのイメージを高められるようにする。	生「生命・自然」 図「大好きな物語」 体「表現運動」 道「国やふるさとのよさ」 特「修学旅行」 「自然に親しむ」
	10月	7	(知及技) いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しんでいる。(1段階Aア) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現する。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組む。	(知・技) いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しんでいる。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○季節の歌を歌おう(歌) ・タやけ小やけ ・修学旅行の替え歌 ○音楽をつくろう2(器・音) ・虫のがっそうたい ○物語の音楽を楽しもう(鑑) ・サウンドオブミュージック	・教師と一緒に教科書の絵や動画を見ながら様子を思い浮かべて聴くようにする。 ・教師と一緒に手拍子や太鼓でリズム奏をする。 ・動画やイラストを示し、歌詞に出てくる動物などの動きをイメージできるようにする。	生「生命・自然」 図「大好きな物語」 体「表現運動」 道「国やふるさとのよさ」「世界の国々」「自然に親しむ」 特「修学旅行」
	11月	7	(知及技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりする。(1段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に、音楽が流れる中で、身体表現する。(1段階Aア) (学・人) 教師と一緒に、拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとする。(1段階)	(知・技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に、音楽が流れる中で、身体表現している。 (主学) 教師と一緒に、拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとしている。	○みんなで歌うリズムを楽しもう(歌) ・ピクニック ・ゆかいなまきば ○音楽に合わせて身体を動かそう(音・身) ・あらうま	・歌詞に出てくる動物の鳴き声や擬音を教師と一緒に発音したり歌ったりする。 ・動画やイラスト等を提示し、馬が駆ける様子を想像できるようにする。	国「リズムに親しもう」 体「表現運動」
	12月	6	(知及技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりする。(1段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に、音楽が流れる中で、身体表現をする。(1段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。(1段階)	(知・技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に、音楽が流れる中で、身体表現をしている。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○みんなで歌うリズムを楽しもう(歌) ・手と手と手と ○音楽に合わせて身体を動かそう(音・身) ・ギャロップでおどろろ ○楽器の音色を楽しもう(器・鑑) ・小犬のワルツ	・季節を感じながら、考えて友達と声を合わせて楽しく歌う。 ・ピアノ伴奏や教師の歌声に合わせて、ギャロップを踏みながら歌う。 ・歌と一緒に、考えてハンドベルやトーンチャイム、鉄琴などの楽器を演奏する。 ・犬の動きを想像しながら曲を聴く。	生「生命・自然」 体「表現運動」

3 学 期	1 月	6	(知・技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりしている。(1段階Aア) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現する。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。(1段階)	(知・技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりしている。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○お正月の歌(歌・鑑) ・お正月、干支の歌等 ○いろいろな声で表現して遊ぼう(歌・音・身) ・もしもコックさんだったなら 手のひらをたいていように ○楽器を感じながら聴こう(鑑) ・威風堂々	・教師の支援を受けながら、曲に合わせて強弱弱の・拍子のリズムをとる。 ・教師と一緒に歌やピアノに合わせて、身体表現する。	道「国やふるさとのよさ」
	2 月	6	(知及技) 声を出したり、教師と一緒にメロディーや歌詞を意識して歌ったりする。(1段階Aア) (思判表力) 教師と一緒にキーボード等の楽器を好きなように鳴らす。(1段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。(1段階)	(知・技) 教師と一緒にメロディーや歌詞を意識して歌ったりしている。 (思・判・表) 教師と一緒にキーボード等の楽器を好きなように鳴らしている。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ・卒業式の歌 ○ドレミファソの音で遊ぼう(器) ・こぐまの二月 ○言葉のリズムで遊ぼう(歌・音・身) ・きたかぜ小ぞうのかんたろう ○楽器を感じながら聴こう(鑑) ・威風堂々	・拍を感じ取りながら、範唱を模倣して歌う。 ・教師と一緒にキーボードやハンドベルを鳴らす。 ・簡単なリズムの特徴や歌詞を感じ取り、教師と一緒に身体表現する。	生「生命・自然」 道「自然に親しむ」 特「13祝い」「学習発表会」
	3 月	5	(知及技) いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しむ。(1段階Aア) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現する。 (学・人) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりしている。(1段階)	(知・技) いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しんでいる。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 (主学) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりしている。	○声を合わせて歌おう、表現しよう(歌・身) ・ともだちになるために ・卒業式の歌 ・プレーメンの音がくたい ○オーケストラを聴こう(鑑) ・オーケストラのがっき ・威風堂々 ・きみがよ	・友達と一緒に音楽劇をする。 ・教師と一緒に音楽に合わせて自由に身体を動かしたり、手拍子したりする。 ・打楽器と鍵盤楽器を使って音を鳴らす。 ・楽器の名前や大きさを知る。	国「お話を読む」 特「1年間を振り返ろう」
留意点 引継等		主に『おんがく☆☆☆』の題材を取り扱うが、修学旅行等の行事や、児童の実態によって他の題材を扱うことができる。					
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度 ・発表 ・実技テスト					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	4名		

			(知及び技) 知識及び技能	形や色などの造形的な視点に気付く、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくりだすことができるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	6	(知及技) 吹き絵の技法で模様をつくる制作活動を通して、形や色などに気付くことができる。(共通事項A(7)) 絵の具や画用紙等のいろいろな紙類、ストローなどを使い、教師と一緒に吹き絵の技法で模様をつくることができる。(1段階Aア(4)) (思判表力) 材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に模様に表すことができる。(1段階Aア(7)) (学・人) つくりだすことの楽しさに気付くとともに、教師と一緒に楽しんで吹き絵の技法を使った活動に取り組む。(1段階)	(知・技) 吹き絵での制作活動を通して、形や色などの違いに気付いている。 教師の支援を受けながら吹き絵の技法で模様をつくっている。 (思・判・表) 教師と一緒に吹き絵の技法を使って表現している。 (主学) 吹き絵の技法を使って模様をつくる活動を教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～模様を描こう～ 吹き絵	・使いたい色の絵の具や紙類を選んだり、絵の具に水を混ぜて色水を作ったりする。 絵の具や色水を画用紙等に垂らし、ストローで吹いていろいろな模様をつくる。 作品を鑑賞する。	算「位置を表す言葉」
	5月	6	(知及技) ゼリーカップや紙コップなど、色々な形や素材の容器を使った制作活動を通して、形や色、模様などに気付くことができる。(1段階共通事項A(7)) 色々な形や素材の容器に触れながら、教師と一緒にかく、切るなどを作ることができる。(1段階Aア(4)) (思判表力) 様々な紙の材質や色などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に色々な形や模様に表すことができる。(1段階共通事項A(4)、Aア(7)) (学・人) 教師と一緒に制作活動に取り組む、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	(知・技) 色々な形や素材の容器を使った制作活動を通して、形や色、模様などの違いに気付いている。 色々な形や素材の容器を使い、教師と一緒に動物や糸電話を作っている。 (思・判・表) 色々な形や素材の容器を使って、教師と一緒に形に表している。 (主学) 色々な形や素材の容器を使い、教師と一緒に楽しく制作活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう ～カップを 使って～ ロボット、動物など	・ゼリーカップや紙コップなど、色々な形や素材の容器を組み合わせてロボットや動物などを作る。 作った作品を紹介し合う。	生「ものの仕組みと働き①」 算「合わせていくつ」「くらべてみよう」「形をつくらう」
I 学期	6月	7	(知及技) パルプやはがきを作る活動を通して、牛乳パックの形や、色や模様に気付くことができる。(1段階共通事項A(7)) 教師と一緒に牛乳パックを切ったり、色々な色や模様をかいたりすることができる。(1段階Aア(4)) (思判表力) 材料から自分のイメージをもち、教師と一緒に色々な形や模様に表すことができる。(1段階共通事項A(4)、Aア(7)) (学・人) 教師と一緒に制作活動に取り組む、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	(知・技) パルプやはがきを作る活動を通して、牛乳パックの形や色や模様に気付いている。 教師と一緒に牛乳パックからパルプを作ったり、色々な色や模様のはがきを作ったりしている。 (思・判・表) 材料や用具などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に形に表している。 (主学) 牛乳パックからパルプを作ったり、色々な色や模様のはがきを作ったりする活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～牛乳パックを 使って～ 和紙作り (はがき)	・牛乳パックからパルプを作ることを楽しむ。 パルプに絵の具や色々な素材を混ぜる。 パルプを漉き、色々な色や模様のはがきを作る。 作品を紹介し合う。	生「生命・自然①」 国「説明文を読もう」

	7月	6	(知及技) 窓アートの制作活動を通して、形や色、模様などに気付くことができる。(1段階共通事項ア(7)) 教師と一緒に、ハサミなどでカラーセロハンを切ったり、色々な形のカラーセロハンをはったりすることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 身の回りにあるものから、表したいことを思いついたり、教師と一緒に作品を見たりすることができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 教師と一緒に制作活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色などに気付いたりすることができる。(1段階共通事項ア(7)、Bア(7)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを教師と一緒に発表することができる。(2段階Bア(7)) (学・人) 形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くことができる。(1段階)	(知・技) 窓アートの制作活動を通して、形や色、模様などの違いに気付いている。 教師と一緒に、ハサミなどでカラーセロハンを切ったり、色々な形のカラーセロハンを組み合わせて模様を作ったりしている。 (思・判・表) 教師と一緒にカラーセロハンを使って窓に模様を表現している。 (主学) 窓アートの活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの違いに気付いている。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを教師と一緒に表現している。 (主学) 教師と一緒に、作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動に取り組もうとしている。	・作ってみよう 窓アート ・見てみよう(鑑賞) ～作品を見て感じたことを話し合う～ 身近な美術作品	・ハサミの安全で適切な使い方を確かめながら、セロハンを切ることを楽しむ。 カラーセロハンの切り方を工夫して、色々な形をつくる。 カラーセロハンを使って、窓ガラスに色々な模様を表現する。 作品を鑑賞する。 ・1学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	国「お話をしてみよう」「話し合いをしよう」 道「友達の気持ちになって」「よさを伸ばす」
	9月	7	(知及技) ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる制作活動を通して、紙を破った感覚や紙の感触、形、色などに気付くことができる。(1段階共通事項ア(7)) 色々な材質の紙を使い、教師と一緒にちぎり絵の技法で模様や絵をかくことができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 材料からイメージをもち、教師と一緒にちぎり絵の技法で模様や絵を思いつくことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 教師と一緒に制作活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	(知・技) ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる制作活動を通して、紙を破った感覚や紙の感触、形、色などの違いに気付いている。 色々な材質の紙を使い、教師と一緒にちぎり絵の技法で模様や絵をつくっている。 (思・判・表) 教師と一緒にちぎり絵の技法で模様や絵を思いついている。 (主学) ちぎり絵の技法で模様や絵をつくる活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～ちぎり絵～ 木、花など	・色々な材質の紙を様々な方法で破くことを試し、破いてできる形の面白さを感じ取る。 破いた紙の形や色、質感に着目しながら、色々な組み合わせを試して模様や絵に表す。 作品を紹介し合う。	生「生命・自然②」 算「形をつくろう」
	10月	7	(知及技) 感想画を描く活動を通して、形や色などに気付くことができる。(1段階共通事項ア(7)) 様々な画材から教師と一緒に使いたい画材を選び、感想画を描くことができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 絵本等の挿絵や物語の内容を基にイメージをもち、教師と一緒に絵に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 好きな絵本等を絵に表す楽しんで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くことができる。(1段階)	(知・技) 感想画を描く活動を通して、形や色などの違いに気付いている。 様々な画材から使いたい画材を選び、教師と一緒に感想画を描いている。 (思・判・表) 絵本等の挿絵や話の内容を基に自分のイメージをもち、教師と一緒に絵に表している。 (主学) 感想画を描く活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・描いてみよう ～絵を見て感じたことを描こう～ 感想画	・物語を聞いたり読んだりして感想画に表したい本や描きたい場面を選ぶ。 物語を聞いたり読んだり、挿絵を見たりして思い浮かべたことや感じたことから表したいことを見つけ、使いたい画材を選んで絵に表す。 作品を紹介し合う。	国「図書室に行ってみよう」「昔話」

2 学 期	11月	6	(知及技) 紙粘土から色々な形を作り出す感覚や花びんや宝物入れなどを作ったりする活動を通して、紙粘土の感触や形に気付くことができる。(1段階共通事項ア(7)) 紙粘土に触れながら、教師と一緒に色々な形を作ったり花びんや宝物入れなどを作ったりすることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 紙粘土からイメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 紙粘土の感触を味わい、色々な形をくりだすことの楽しさに気づき、教師と一緒に制作活動に取り組む。(1段階)	(知・技) 紙粘土から色々な形を作り出す感覚や花びんなどを作ったりする活動を通して、紙粘土の感触や形の違い、形が変化する様子などに気付いている。 紙粘土の扱いに慣れ、教師と一緒に色々な形を作ったり花びんなどを作ったりしている。 (思・判・表) 紙粘土から作り出した色々な形などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に花びんなどを作っている。 (主学) 紙粘土で色々な形を作り出した活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～紙粘土を使って～ 花びん、宝物入れなど	・紙粘土に触れ、どのような形ができそうか思い付いたことを試す。 紙粘土やその他の材料から表したいことを考え、花びんや宝物入れなどを作ったり飾り付けたりする。 作品を紹介し合う。	生「ものの仕組みと働き②」
	12月	7	(知及技) 紙版画の型紙を作ったり刷ったりする活動を通して、色々な紙の材質や形や、紙版画の色に気付くことができる。(1段階共通事項ア(7)) 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に型紙をこすり、形を浮き出して版画を作ることができる。(1段階共通事項A(イ)) (思判表力) 紙の材質や形などから、イメージをもち、教師と一緒に紙版画の型紙を作ったり刷ったりすることができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) 材料を切ったり組み合わせたりして版表現につくりだすことの楽しさに気づき、教師と一緒に制作活動に取り組む。(1段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色などに気付いたり、身の回りにあるものなどを見ることができ。(1段階共通事項ア(7)、Bア(7)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを教師と一緒に発表することができる。(1段階Bア(7)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動を通して、つくりだすことの楽しさに気付くことができる。(1段階)	(知・技) 紙版画を作る活動を通して、色々な紙の材質や形、色の違い、型紙と版画の関係などに気付いている。 型紙の作り方や刷り方を知り、教師と一緒に紙版画を作っている。(思・判・表) 紙の材質や形などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に紙版画の型紙を作ったり刷ったりしている。 (主学) 紙版画を作る活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色などの違いに気付いている。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを教師と一緒に表現している。 (主学) 教師と一緒に、作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動に取り組もうとしている。	・描いてみよう ～色々な紙(段ボール、画用紙等)を使って～ 紙版画 ・見てみよう(鑑賞) ～作品を見て感じたことを話し合う～ ていーだのひかり作品展	・色々な材質の紙を切ったり組み合わせたりして思い付いたことを表す。 紙版画を刷る。 作品を紹介し合う。 ・ていーだのひかり作品展を鑑賞する(写真や動画で鑑賞する、美術館に行って鑑賞する等)。 2学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	生「生命・自然③」 道「自然とふれ合う」
	1月	6	(知及技) 液体粘土作りや液体粘土を使った造形活動を通して、形や色などについて気付くことができる。(1段階共通事項ア(7)) 液体粘土に触れながら、教師と一緒に丸めたり、ねじったり、並べたり、積み重ねたり、組み合わせたり、工夫してつくることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 液体粘土に触った感じや色々な形を基に自分のイメージをもち、教師と一緒に液体粘土を使って形に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(7)) (学・人) つくりだすことの楽しさに気づき、教師と一緒に制作活動に取り組む。(1段階)	(知・技) 液体粘土作りや液体粘土を使った造形活動を通して、触った感じや色々な形に変化することなどに気付いている。 教師と一緒に、液体粘土を作ったり、液体粘土や布等を使って工夫して動物等を作ったりしている。 (思・判・表) 液体粘土に触った感じや色々な形を基に自分のイメージをもち、教師と一緒に液体粘土を使って好きな動物等を作っている。 (主学) 液体粘土を使った造形活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～液体粘土と布を使って～ 動物など	・液体粘土を作る。 液体粘土を使って布などの柔らかい素材を固め、動物などを作る。 作品を紹介し合う。	算「かさははかる」

3 学 期	2月	6	(知及技) 色々な箱を使った活動を通して、形や色などに気付くことができる。(1段階共通事項A(7)) 様々な形や大きさの箱を使い、教師と一緒に重ねたり、組み合わせたりして形や作品を作ることができる。(1段階Aア(4)) (思判表力) 様々な形や大きさの箱から自分のイメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。(1段階共通事項A(4)、Aア(7)) (学・人) 教師と一緒に様々な形や大きさの箱を使った造形活動を通して、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階) (知及技) 作品の鑑賞を通して、形や色などに気付いたり、身の回りにあるものなどを見ることができる。(1段階共通事項A(7)、Bア(7)) (思判表力) 作品の鑑賞を通して、自分が感じたことを教師と一緒に発表することができる。(1段階Bア(7)) (学・人) 作品の鑑賞や作品を見て感じたことを話し合う活動を通して、つくりだすことの楽しさに気付くことができる。(1段階)	(知・技) 色々な箱を組み合わせ、形をつくる活動を通して、形の感じに気付いている。 様々な形や大きさの箱を使い、教師と一緒に組み合わせ工夫して形を作っている。 (思・判・表) 様々な形や大きさの箱から自分のイメージをもち、教師と一緒に形に表している。 (主学) 様々な形や大きさの箱を使った造形活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。 (知・技) 作品の鑑賞を通して、形や色、表し方の面白さなどに気付いている。 (思・判・表) 作品の鑑賞を通して、自分が気付いたことや感じたことを教師と一緒に表現している。 (主学) 材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、制作活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	・作ってみよう ～箱を使って～ 動物園 ・見てみよう(鑑賞) ～作品を見て感じたことを話し合う～ 浦添市小中学校美術作品展	・使ってみよう箱を自由に選び、思い思いに組み合わせる。 箱の形や大きさ、色等を生かして組み合わせ、友達と協力して動物等を作る。 作品を使って、動物園ごっこ等で遊ぶ。 ・浦添市小中学校美術作品展を鑑賞する(美術館に行き鑑賞する)。 3学期の活動を振り返り作品を紹介し合う。 作品を見て、面白さや楽しさについて話したり、聞いたりする。	生「ものの仕組みと働き②」 算「位置を表す言葉」 「くらべてみよう」
	3月	6	(知及技) 作品集の制作活動を通して、形や色などについて気付くことができる。(1段階共通事項A(7)) (思判表力) 絵の具などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に作品集に表すことができる。(1段階共通事項A(4)、Aア(7)) (学・人) 教師と一緒に制作活動に取り組む、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	(知・技) 表したいことに応じて材料や用具を選んでいる。今までの経験や学習した技法を生かして教師と一緒に工夫して作品集を作っている。 (思・判・表) 絵の具などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に作品集に表している。 (主学) 教師と一緒に作品集作りに楽しく取り組もうとしたり、作品集を紹介しようとしたりしている。	・作ってみよう ～作品集作り～	・作品を見ながら一年間の活動を振り返る。 表したいことに応じて材料や用具を選び、今までの経験や学習した技法を生かして作品集を作る。 作品集を紹介し合う。	特「1年間を振り返ろう」
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	4名		

			(知及び技) 知識及び技能	教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学 期	4月	6	(知及び技) 教師と一緒に、歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 体を動かすことの楽しさを表現することができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとする。(Ⅰ段階Aウ)	(知・技) 歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きをしている。 (思・判・表) 体を動かすことの楽しさを表現している。 (主学) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとしている。	体づくり運動遊び① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックをしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミック リズムやカウントに合わせて体を動かす。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	5月	7	(知及び技) 教師と一緒に、簡単な動物の動きをすることができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 動物の動きを自分なりに作って表現することができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 教師の指示に従って、うがい・手洗いに取り組もうとする。(Ⅰ段階Gア)	(知・技) 教師と一緒に、簡単な動物の動きをしている。 (思・判・表) 動物の動きを自分なりに作って表現している。 (主学) 教師の指示に従って、うがい・手洗いに取り組もうとしている。	体づくり運動遊び② ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・大縄跳びをしよう 保健 ・うがい、手洗い (年間を通して)	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・大縄跳び 回数を決めて跳ぶ。 ・感想発表 ・うがい、手洗い	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	6月	7	(知及び技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Cア) (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(Ⅰ段階Cイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。(Ⅰ段階Cウ)	(知・技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。	走・跳の運動遊び① ・リレーをしよう ここからわーく ・体の清潔と健康	・集合 ・準備体操 ・かけっこ スタート、ゴールを確認する。 教師と一緒に走る。 1人で走る。 友達と一緒に走る。 バトンパスをする。 ・感想発表 ここからわーく ・お風呂の入り方、修学旅行に向けて実践	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	7月	6	(知及び技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Cア) (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(Ⅰ段階Cイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。(Ⅰ段階Cウ)	(知・技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。	走・跳の運動遊び② ・ジャンプをしよう	・集合 ・準備体操 ・跳んでみよう i ハードルジャンプ 片足、両足 ii 的を触る 200cm程度の的をジャンプして触る。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

2 学 期	9月	7	(知及技)教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。(1段階Dア) (思判表力)水中での感覚や心地よさを表現することができる。(1段階Dイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする。(1段階Dウ)	(知・技)教師と一緒に、楽しく体を動している。 (思・判・表)水中での感覚や心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。	水遊び① ・水と友達になろう ここからわーく ・男女の体の違い	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・顔付け 合図に合わせて水に顔をつける。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表 ここからわーく ・思春期に現れる変	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	10月	7	(知及技)教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。(1段階Dア) (思判表力)水中での感覚や心地よさを表現することができる。(1段階Dイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする。(1段階Dウ)	(知・技)教師と一緒に、楽しく体を動している。 (思・判・表)水中での感覚や心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。	水遊び② ・水に慣れよう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・ボビング ・伏し浮き ・潜る ・自由タイム ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	11月	7	(知及技)教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Eア) (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Eイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。(1段階Eウ)	(知・技)教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。	ボール遊び① ・ドッチボールをしよう	・集合 ・準備体操 ・ドッチボール 投げる、逃げる。 勝敗を決める。 ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	12月	6	(知及技)教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Eア) (思判表力)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Eイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。(1段階Eウ)	(知・技)教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表)ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。	ボール遊び② ・サッカーをしよう ここからわーく ・エイズデー	・集合 ・準備体操 ・ボール蹴り ボールを蹴って、ゴールに入れる。 ・サッカーをする。 ・勝敗を決める。 ・感想発表 ここからわーく ・感染症予防、咳エチケット、手洗い	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	1月	6	(知及技)教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Bア) (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Bイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとする。(1段階Bウ)	(知・技)教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。	器械・器具を使っての遊び① ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱をまたぐ ii マット上を転がる iii マット上ジャンプ iv 肋木昇降 v 鉄棒ぶら下がり ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」

3 学 期	2月	7	(知及技)教師と一緒に、器械・器具を使って」楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Bア) (思判表力)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(Ⅰ段階Bイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとする。(Ⅰ段階Bウ)	(知・技)教師と一緒に、器械・器具を使って」楽しく体を動かしている。 (思・判・表)器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。	器械・器具を使っての遊び② ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱上からジャンプ ii マット上を転がる iii マット上で前転 iv 平均台上を歩く v トランポリン vi 跳び箱を跳ぶ ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
	3月	4	(知及技)教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Fア) (思判表力)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(Ⅰ段階Fイ) (学・人)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとする。(Ⅰ段階Fウ)	(知・技)教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かしている。 (思・判・表)音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学)簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。	表現遊び① ・ダンスをしよう	・集合 ・準備体操 ・ダンス i 設定ダンス 動物曲、流行曲 ii 自由ダンス ・感想発表	生：「きまり」「いろいろな遊び」「人との関わり」 国：「話してみよう①②」「ものの名前を学ぶ」 算数：「数えよう、比べよう」「なんばんめ」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・実技					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	4名		なし

年間目標			道徳的諸価値についての理解を基に、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。			
日	月	時数	目標	主題名	活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	3	挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。また、挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し、できるだけ自分で考え、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	【B 礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・知らない人にも挨拶をすることの意義や大切さについて、できるだけ自分で考えること。 ・礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場合に応じて実践しようとするについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「呼びかけてみよう」
	5月	3	家族の愛情や家族の一員としての役割についてできるだけ自分で考え、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちを持ち、伝えることの大切さについてできるだけ自分で考え、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする。	【C 家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B 感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとすることについて、できるだけ自分で考えること。 ・お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意義や大切さについてできるだけ自分で考えること。 ・日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたりすればよいか、また家族などの身近な人々からの愛情に対して感謝の気持ちをもつことの大切さについてできるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 国語 「説明文を読もう」
	6月	4	みんなの行動についてできるだけ自分で考えることをとおして、仲間はずれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	【C 公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・自分のクラスでも起こりかねない問題として捉え、「なかまはずれ」が起こらないようにするためには、どのようにしていくのがよいかについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり ケ きまり 国語 「リズムに親しもう」 「長音・促音」
	7月	2	規則正しい生活や周りの人に対する態度についてできるだけ自分で考え、わがままな行動をせず、正しい生活態度で過ごし、周りの人に迷惑をかけないようにしようとする。	【A 節度、節制】 ・生活を見直す ・物を大切に	・わがままをせず、規則正しい生活を送ることの大切さに気づき、これからどのようにすればよいかについて、できるだけ自分で考えること。 ・物を大切にすることの価値に気づき、物を大切にすることについて、できるだけ自分で考えること。	生活 ア 基本的生活習慣 ウ 日課・予定 オ 人との関わり 国語 「お店の人にきいてみよう」 「電話で話そう」
	9月	3	自分の思いだけでなく友達の良い気持ちもできるだけ自分で考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする。また、友達と仲良くし助け合うことの大切さについてできるだけ自分で考え、よりよい友達関係を築こうとする。	【B 友情、信頼】 ・友達の良い気持ちになって ・友達の立場になって 【ここからわーく】 ・心地よい関わり（人との距離感を含む） 例：サイコロやルーレットゲームで同意の取り方、断り方を学ぼう ・ふわふわことば、ちくちくことば	・自分の思いだけでなく、友達の良い気持ちをできるだけ自分で考えることも大切にして、互いの気持ちを理解しながら接することについて、自分との関わりで考えること。 ・友達の気持ちを考えることの大切さを理解し、よりよい友達関係を築き、互いに助け合うことについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「演じてみよう」

2 学 期	10月	4	友達のよいところについてできるだけ自分で考えることをとおして、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする。	【A 個性の伸長】 ・よさを伸ばす	・自分のよさについて考える授業をとおして、自分のよいところや悪いところなどにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり 国語 「ひらがなやカタカナをかこう」 「かん字をかこう」 「話し合い」
	11月	4	自ら働くことのよさや楽しさについてできるだけ自分で考え、すすんでみんなのために働こうとする。	【C 勤労、公共の精神】 ・楽しく働く	・みんなのために働くということについて、できるだけ自分で考えること。 ・みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで仕事をしようとするについて、できるだけ自分で考えること。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 国語 「図書室に行ってみよう」 「説明文を読もう」
	12月	3	自ら働くことのよさや楽しさについてできるだけ自分で考え、すすんでみんなのために働こうとする。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることについて、できるだけ自分で考えること。 ・みんなが使うものを大切にするについて、できるだけ自分で考えること。	生活 イ 安全 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 「標識を読んでみよう」 「文をかこう」
3 学 期	1月	3	物事のよいことと悪いことについてできるだけ自分で考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとするについて、できるだけ自分で考えること。 ・勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、できるだけ自分で考えること。	生活 イ 安全 オ 人との関わり ケ きまり 国語 「昔話」 「カタカナのリズムを感じよう」
	2月	4	自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることについてできるだけ自分で考え、生命を大切に生活しようとする。 身近な自然や生き物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとするとともに、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり、動物と接したりして、優しい心で自然と触れあおうとする。	【D 生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D 自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについてできるだけ自分で考えること。 ・自然や動植物に親しむことの大切さや、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり動物に接したりして、優しい心で自然とふれ合うことについてできるだけ自分で考えること。	生活 エ 遊び オ 人との関わり サ 生命・自然 国語 「げきをしよう」 「推敲して発表しよう」
	3月	2	地域のよさについてできるだけ自分で考え、国や郷土に親しもうとする。 いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについてできるだけ自分で考えることをとおして、国旗や国歌に対する考えを深め、他国に対する理解や親しみをもとうとする。	【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C 国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・国や郷土の文化や生活についてできるだけ自分で考えることができる。 ・国や郷土の文化や生活のよさについて、できるだけ自分で考えることができる。 ・国旗に込められた意味とその大切さについてできるだけ自分で考えること。 ・国旗や国歌の大切さについて、できるだけ自分で考えること。	生活 コ 社会の仕組みと公共施設 サ 生命・自然 国語 「お話を読む」
留意点 引継等						
評価方法		・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	4名		Let's Try! 1.2

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむことができる。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ることができる。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	3	(知及技) いろいろな場面に 応じた挨拶の表現に慣れ親しむ。【(1)(ア)】 (思判表力) 表情やジェスチャー等を交えて挨拶を し合う。【(3)①ア(ア)】 (学・人) 会話の中での 様々な挨拶に慣れる。	(知・技) 英語の挨拶表現 を活用しようとしている。 (思・判・表) 表情やジェスチャー等を交えて表現し ている。 (主学) ジェスチャーや表 情等で挨拶しようとしてい る。	挨拶をして友だちにな ろう Hello, Hi, Goodbye, See you, Let's start English class. That's all for today. ごきげんいかが? How are you? I'm~ fine, good, hungry, tired	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ②アクティビティ ・英語の挨拶をして、 名刺をわたそう ・イースターエッグを 探そう ・友達とごきげんいか が?を聞きあおう ③フォニックス ④ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝 えよう」 音「みんなで歌お う」「音楽に合わせ て踊ろう」
	5月	3	(知及技) 自分の事を伝え る英語の表現に慣れ親し む。【(2)ア】 (思判表力) 表情やジェス チャー等を交えて自己紹介 をする。【(3)②ア(1)】 (学・人) 表情やジェス チャー等を交えて自分の名 前や年齢を英語で伝えよう とする。	(知・技) 自分の事を伝える 表現に慣れ親しむことが できる。 (思・判・表) 表情やジェスチャー等を交えて相手に 伝わるように表現してい る。 (主学) 表情やジェス チャー等を交えて自分の名 前や年齢を英語で伝えよう としている。	自己紹介をしよう What is your name? My name is Taro. I'm~ (名前) I'm~ (年齢) one, two, three, four, five, six, seven, eigh t, nine, ten, eleven, t welve, thirteen, Nice to meet you.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「数字のうた」 ②アクティビティ ・友達や先生と自己紹 介をしよう ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ポー ルを持っている人が自 己紹介をする。 ③フォニックス ④ダンス 「Hello!」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「役割をもって伝 えよう」 音「みんなで歌お う」「音楽に合わせ て踊ろう」
	6月	4	(知及技) 曜日の英語での 言い方や、曜日を尋ねたり 答えたりする表現に慣れ親 しむ。【(2)ア】 (思判表力) 自分の好きな 曜日を身振りを交えて伝え ることができる。【(3)② ア(ア)】 (学・人) 表情やジェス チャー等を交えて曜日を英 語で伝えようとする。	(知・技) 英語で曜日を話 したり、答えたりしてい る。 (思・判・表) 自分の好き な曜日を伝える際、身振り を交える等表現している。 (主学) 表情やジェス チャー等を交えて曜日を英 語で伝えようとしている。	今日は何曜日? Monday, Tuesday, Wedn esday, Thursday, Frid ay, Saturday, Sunday What day is today? I like Friday. Days of the week	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Days Of The Week Song」 Super Simple Songs ②アクティビティ ・ボールパスゲーム 音楽が止まって、ポー ルを持っている人が好 きな曜日を伝える。 ③フォニックス ④ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 国「長音促音を読ん でみよう」 音「みんなで歌お う」「音楽に合わせ て踊ろう」

	7月	2	(知及技) 外来語とそれが由来する英語の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 (思判表力) 身の回りの物について、身振りを交えて答える。【(3)②ア(ア)】 (学・人) 外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性に触れ、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとする。	(知・技) 外来語とそれが由来する英語の表現に慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 身の回りの物について、身振りを交えて表現しようとしている。 (主学) 大まかに外国の文化について知り、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとしている。	これなあに？ (身の回りの物) (Apple, Strawberry, Cherry, Grape, Peach, Watermelon, Lemon, Melon, Pineapple, Banana) What is this? That is a banana.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What's this? Song」 Grit for Kids ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。 ・3ヒントゲーム ③フォニックス ④ダンス 「Head Shoulders Knees&Toes」	生「人との関わり」 国「お店の人に聞いてみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	9月	3	(知及技) 色や食べ物の英語の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 (思判表力) 色や食べ物について、何が好きか身振りを交えて答える。【(3)②ア(イ)】 (学・人) 自分の好みを身振りを交えて簡単な英語の表現で紹介しようとする。	(知・技) 色や食べ物の英語の表現に慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 色や食べ物について、何が好きか身振りを交えて表現しようとしている。 (主学) 自分の好みを身振りを交えて簡単な英語の表現で紹介しようとしている。	好きなものはなあに？ (色、食べ物) red, blue, green, black, white, pink, yellow, orange What color do you like? I like ~ icecream, rice, fish, spaghetti What food do you like? I like ~	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「What color do you like?」 ABCタウン ②アクティビティ ・英語でかるた 色や食べ物カードをかるたカードに見立てて活動する。 ・よく聞いてカラーボールをとろう ③フォニックス ④ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「お店の人に聞いてみよう」「説明文を読もう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	10月	4	(知及技) いろいろな遊びの英語の表現に慣れ親しむ。【(1)イ(ア)】 (思判表力) 遊びについて、何が好きか身振りを交えて答える。【(3)②ア(ア)】 (学・人) 自分の好きな遊びを身振りを交えて簡単な英語の表現で紹介しようとする。	(知・技) 日本語と英語の音声の違いに慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 遊びについて、何が好きかどうかを身振りを交えて答える等工夫している。 (主学) 自分の好きな遊びを身振りを交えて簡単な英語の表現で紹介しようとしている。	好きなものはなあに？ (いろいろな遊び) soccer, baseball, running, swimming What play do you like? I like soccer. ハロウィンを楽しもう ghost, witch, spider	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ハロウィンソング」 ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト(おばけ、魔女、くも) ・かぼちゃの福笑い ・英語でフルーツバスケット(色、食べ物) ③フォニックス ④ダンス 「Walking Walking」 Super Simple Songs	生「人との関わり」 国「話し合いをしよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
2学期	11月	4	(知及技) 動きの言葉の英語の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 (思判表力) 絵をみて、相手に伝わるよう身振りを交えて答える。【(3)②ア(ア)】 (学・人) 表情やジェスチャー等を交えて動きの言葉を英語で伝えようとする。	(知・技) 動きの言葉の表現に慣れ親しむことができる。 (思・判・表) 絵をみて、相手に伝わるよう身振りを交える等工夫している。 (主学) 表情やジェスチャー等を交えて動きの言葉を英語で伝えようとしている。	動いてみよう (速く、ゆっくり) walk, jump, stop, sit, run, fast, slowly, go, clap, stomp, shake, jump, touch	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Action song」 ・「Walking Walking」 ②アクティビティ ・だるまさんが〇〇 walk, jump, stop, sit, run, fast, slowlyを聞き分けて、動く。 ③フォニックス ④ダンス 「きらきら星」	生「人との関わり」 国「演じてみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」

	12月	3	（知及技）外国の文化を知り、慣れ親しむ。【(1)イ(1)】 （思判表力）なじみのある言葉で伝えたり、なじみのある歌の英語版でダンスを踊ったりする。【(3)②ア(7)】 （学・人）外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性に触れ、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとする。	（知・技）外国の文化を知り、慣れ親しむことができる。 （思・判・表）なじみのある言葉で伝えたり、なじみのある歌の英語版でダンスを踊ったりして表現している。 （主学）大まかに外国の文化について知り、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとしている。	クリスマスだよ merry christmas, cake, candle, Santaclaus, present, December, reindeer	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「Jingle Bell」 ・「Hello Reindeer, Goodbye Snowman」 Super Simple Songs ②アクティビティ ・ジェスチャーゲーム リーダーと同じジェスチャーをしたらアウト（クリスマスに関する） ・英語でフルーツバスケット（クリスマスに関する単語） ③フォニックス ④ダンス 「きらきら星」	生「人との関わり」 国「図書室に行ってみよう」 音「季節の歌を歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
3学期	1月	3	（知及技）アルファベットに慣れ親しむ。【(2)ア】 （思判表力）相手に伝わるよう身振りを交えて自分の姓名の頭文字を伝えようとする。【(3)②ア(7)】 （学・人）身の回りのアルファベットの文字を体で表現しようとする。	（知・技）身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがたくさんあることに気付くことができる。 （思・判・表）相手に伝わるように工夫しながら自分の姓名の頭文字を表現している。 （主学）身の回りのアルファベットの文字を体で表現しようとしている。	アルファベットとなかよし （ABCD）	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・英語でかるた アルファベットカードでかるたをする。 ・よく聞いて身体表現しよう （T, O, I, L, M, S, V, X, H）など ③フォニックス ④ダンス 「Baby Shark」	生「人との関わり」 国「標識を読んでみよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	2月	4	（知及技）家族を表す英語の表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思判表力）身近な人について、相手の働きかけに応じようとする。【(3)②ア(1)】 （学・人）家族を表す単語を話そうとしたり、身体で表現しようとしたりする。	（知・技）家族を表す英語の表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）身近な人について、注目して見聞きしようとしている。 （主学）家族を表す単語を話そうとしたり、身体で表現しようとしたりしている。	この人はだれ？ （家族の紹介） mother, father, brother, sister Who is this? This is my mother. Who are you? I'm～	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・ポイントゲーム よく聞いて、絵カードを指さすゲーム（1人～複数人） ・絵本の読み聞かせ 「うちのかぞく」 ③フォニックス ④ダンス 「Baby Shark」	生「人との関わり」 国「文を書こう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
	3月	2	（知及技）日課を表す表現に慣れ親しむ。【(2)イ】 （思判表力）身近で簡単な事柄について、相手の働きかけに応じようとする。【(3)②ア(7)】 （学・人）外国語を通して、外国語のその背景にある文化の多様性に触れ、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとする。	（知・技）日課を表す表現に慣れ親しむことができる。 （思・判・表）身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとし、相手の働きかけに応じようとしている。 （主学）大まかに外国の文化について知り、表情やジェスチャー等を交えてコミュニケーションを図ろうとしている。	私の1日を紹介しよう wake up, eat, go, study, sleep, wash I wake up. I go to school. I take a bath.	①歌 ・「Hello song」 ・「Goodbye song」 ・「ABC song」 ②アクティビティ ・シルエットクイズ ・神経衰弱ゲーム カードが当たったら、そのカードの単語を発音する。 ③フォニックス ④ダンス 1年間のダンスの中から選択	生「人との関わり」 国「推敲して発表しよう」 音「みんなで歌おう」「音楽に合わせて踊ろう」
留意点 引継等		※「ほしいものは何かな？」Let's Try! 2 (Unit7) ※児童の実態に応じて、単元の入替えをしたり、扱う題材（動物、野菜）を追加・変更することがある。					
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度・習得度 ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	4名		ワークシート

			(知及び技) 知識及び技能	話し合い活動の過程において、自分の気持ちを発表したり、他者の話をきいたりすることができるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な生活習慣、約束やきまを守ることの大切さに気づき、自ら考えて行動する力を養う。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築くことができるようにする。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	3	①(知及び技) 教師と一緒に、学年・学級の友達や教師について知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に友達や教師と仲良くしようと表現することができる。 (学・人) 教師と一緒に友達や教師と仲良くしようとすることができる。	①(知・技) 教師と一緒に、学年・学級の友達や教師について知ろうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に友達や教師と仲良くしようと表現している。 (主学) 教師と一緒に友達や教師と仲良くしようとしている。	①学年・学級開き ・学年、学級紹介、自己紹介(Ⅰ)	①学年・学級紹介、自己紹介 ・個人・学級の目標決める。 ・係・当番を決める。	○国 A・聞く・話す 「役割をもって伝えよう」 ○算 A・数量の基礎 「10といくつ」 ○生 オ ・人との関わり 「・いろいろな人に気持ちを伝えよう」 カ・役割「・自分の役割に取り組もう」
	5月	3	①(知及び技) 教師と一緒に、他学年のことに知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現することができる。 (学・人) 教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとすることができる。	①(知・技) 教師と一緒に、他学年のことに知っている。 (思・判・表) 教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現している。 (主学) 教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとしている。	①学年紹介(Ⅰ) ・児童集会で他学年の紹介を見よう。	①児童集会での他学年の紹介を見る。応援したり、みんなで歌ったりして集会を盛り上げる。	○国 A・聞く・話す 「役割をもって伝えよう」 ○算 A・数と計算 「10といくつ」 ○音 A・表現 「音楽に合わせて踊ろう」 ○生 オ・人との関わり 「・いろいろな人に気持ちを伝えよう」 カ・役割「・自分の役割に取り組もう」
	6月	4	①(知及び技) 教師と一緒に話し合いを行い、計画を立て実施することができる。 (思判表力) 教師と一緒に楽しみ会の内容を選ぶことができる。 (学・人) 教師と一緒に楽しみ会を実施することができる。 ②(知及び技) 教師と一緒に不審者に会った時の対応について知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に不審者に会った時の対応についてイラストなどを見て正しい対応を選ぶことができる。 (学・人) 教師と一緒に実際に大声を出したり、周囲の人に助けを求めたりすることができる。	①(知・技) 教師と一緒に話し合いをしようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に楽しみ会の内容を選んでいる。 (主学) 教師と一緒に楽しみ会を実施しようとしている。 ②(知・技) 教師と一緒に不審者に会った時の対応について知ろうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に不審者に会った時の対応についてイラストなどを見て正しい対応を選んでいる。 (主学) 教師と一緒に実際に大声を出したり、周囲の人に助けを求めたりしようとしている。	①お楽しみ会を計画しよう(Ⅰ) ・遊び大会やクッキング ②不審者対応避難訓練(Ⅰ) ・事後学習 ここからわーく ・生命の安全教室	①話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。 ②動画や視覚教材を見て、自分の身を守る方法について知る。 ・実際に大きな声を出したり、周囲の人に助けを求めたりする練習をしたりして、不審者に会った時の対応の仕方を知る。	○国 A・聞く・話す 「リズムに親しもう」 B・書く 「長音、促音を読んでみよう」 ○算数A・数量基礎 「しらべよう」 B・測定「「かさ」をはかろう」 ○生 イ・安全 「・安全について考えてみよう」 キ・手伝い・仕事 「・自分から進んで係活動しよう」

	7月	2	①(知及技)教師と一緒に、他学年のすることについて知ることができる。 (思判表力)教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現することができる。 (学・人)教師と一緒に他学年の友達と仲良くすることができる。 ②(知及技)教師と一緒に自分の頑張ったことを振り返ることができる。 (思判表力)教師と一緒に夏休みの過ごし方について、できるだけ自分で考えることができる。 (学・人)教師と一緒に夏休みにやりたいことを発表することができる。	①(知・技)教師と一緒に、他学年のすることについて知っている。 (思・判・表)教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現している。 (主学)教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとしている。 ②(知・技)教師と一緒に自分の頑張ったことを振り返ろうとしている。 (思・判・表)教師と一緒に夏休みの過ごし方について考えている。 (主学)教師と一緒に夏休みにやりたいことを発表しようとしている。	①学年紹介(1) ・児童集会のビデオを作ろう。見よう。 ②1学期頑張った会(1) ・個人目標振り返り ・夏休みの過ごし方について ここからわーく ・プライベートゾーン	①児童集会に向けて学年の紹介ビデオを作る。見る。 ②個人目標の振り返り。 キャリアパスポート活用。 ・夏休みの過ごし方についての話を聞く。やりたいことの発表。	○国 A・聞く・話す 「お店の人に聞いてみよう」 B・書く 「長音、促音を読んでみよう」 ○算 A・数量の基礎 「金銭」 ○生 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」
	9月	3	①(知及技)教師と一緒に2学期の学習内容についての話を聞き、できるだけ自分で考え、見通しをもつことができる。 (思判表力)教師と一緒に2学期に頑張りたいことを選ぶことができる。 (学・人)教師と一緒に自分なりにめあてを持ち、期待感をもって取り組むことができる。 ②(知及技)教師と一緒に、他学年のすることについて知ることができる。 (思判表力)教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現することができる。 (学・人)教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとすることができる。	①(知・技)2学期の学習や行事について見通しをもっている。 (思・判・表)教師と一緒に2学期に頑張りたいことを選んでいる。 (主学)教師と一緒に自分なりにめあてを持ち、期待感をもって取り組もうとしている。 ②(知・技)教師と一緒に、他学年のすることについて知っている。 (思・判・表)教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとする気持ちを表現している。 (主学)教師と一緒に他学年の友達と仲良くしようとしている。	①2学期頑張ろう会(1) ・2学期の学習、行事について知ろう ②学年紹介(1) ・児童集会で他学年の紹介を見よう。	①2学期頑張ろう会で2学期の行事や学習についての話を聞く。 ②児童集会での他学年の紹介を見る。応援したり、みんなで歌ったりして集会を盛り上げる。	○国 A・聞く・話す 「演じてみよう」 B・書く 「家の中でカタカナ」 ○算 A・数量の基礎 「位置を表す言葉」 A・数と計算 「形をつくろう」 ○音 A・表現 「まつりを楽しもう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 カ・役割 「自分の役割に取り組もう」
	10月	4	①(知及技)教師と一緒に修学旅行の日程、場所、活動内容について見通しをもつことができる。 (思判表力)教師と一緒に公共機関を使うときのルールやマナー、役割などについて考えることができる。 (学・人)教師と一緒に自分のことは自分でしようと取り組むことができる。	①(知・技)教師と一緒に修学旅行の日程、場所、活動内容について見通しをもとうとしている。 (思・判・表)教師と一緒に公共機関を使う時のルールやマナー、役割などについて考えている。 (主学)教師と一緒に自分のことは自分でしようと取り組んでいる。	①修学旅行事前学習(2) ・修学旅行について	①日程、活動内容、公共機関を使う時のルールやマナー、係活動等について学習する。 ・しおり作成、読み合わせ。	○国 A・聞く・話す 「話し合いをしよう」 B・書く 「ひながなをかこう カタカナをかこう」 ○算 A・数量の基礎 「時計の読み方」 ○音 A・表現 「音楽に合わせて身体を動かそう」 ○体 G・保健 「自分の身体」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 ケ・きまり・マナーを守って行動しよう」 ア・基本的生活習慣 「自分からやってみよう」

2 学 期	11月	4	①（知及技）教師と一緒に経験したことを振り返ることができる。 （思判表力）教師と一緒に自分たちのことを知ってもらおうと身振りや簡単な言葉で表現することができる。 （学・人）教師と一緒に自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようすることができる。 ②（知及技）教師と一緒にネットやスマホを安全で便利に使うことができる。 （思判表力）教師と一緒にネットやスマホを安全に便利に使うための方法について考えることができる。 （学・人）教師と一緒にネットやスマホを使用し困った際に、困り感を教師に伝えることができる。 ③（知及技）教師と一緒に地震津波が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 （思判表力）教師と一緒に机の下に隠れる練習をしたり「おはしもち」が表す言葉を表現することができる。 （学・人）教師と一緒に落ち着いて避難しようとする態度をもつことができる。 ④（知及技）教師と一緒に学習発表会の内容について知ることができる。 （思判表力）教師と一緒に学習発表会の内容を確認しながら、表現活動に取り組むことができる。 （学・人）学習発表会の練習や準備で教師と一緒に取り組もうとする態度をもつことができる。	①（知・技）教師と一緒に経験したことを振り返ろうとしている。 （思・判・表）教師と一緒に自分たちのことを知ってもらおうと身振りや簡単な言葉で表現しようとしている。 （主学）教師と一緒に自分たちのことを知ってもらい、他学年の友達と仲良くしようとしている。 ②（知・技）教師と一緒にネットやスマホの付き合い方について知ることができる。 （思・判・表）教師と一緒にネットやスマホを安全に便利に使うための方法について考えている。 （主学）教師と一緒にネットやスマホを使用し困った際に、困り感を教師に伝えようとしている。 ③（知・技）教師と一緒に地震津波が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 （思・判・表）教師と一緒に机の下に隠れる練習をしたり「おはしもち」が表す言葉を表現している。 （主学）教師と一緒に落ち着いて避難しようとしている。 ④（知・技）教師と一緒に学習発表会の内容について知っている。 （思・判・表）教師と一緒に学習発表会の内容を確認しながら、表現活動に取り組んでいる。 （主学）学習発表会の練習や準備で教師と一緒に取り組もうとしている。	①修学旅行事後学習 （1） ・修学旅行を振り返り、思い出を伝えよう ②ネットやスマホの付き合い方（1） ・スマホの使い方について知ろう。 ③地震津波避難訓練 （1） ・事後学習 ④学習発表会事前学習	①修学旅行の発表をする。紹介ビデオを作る。見る。 ②新聞等を活用し、身近に潜むネットやスマホの危険性や身体への影響について知る。 ・安全に便利に使うためには、どのような方法が良いか話し合う。 ③机の下に隠れる練習をしたり、「お・は・し・も・ち」について確認したりする。 ④学習発表会で全体の内容や自分の取り組むべきことを確認する。	○国 A・聞く・話す 「役割をもって伝えよう」「説明文を読もう」 B・書く 「ひながなをかこう」 カタカナをかこう かん字をかこう」 ○算 A・数と計算 「くらべてみよう」 ○生 ウ・日課・予定 「・予定を考えた毎日の生活」 イ・安全「・安全について考えてみよう」 ケ・きまり「・マナーを守って行動しよう」
	12月	3	①（知及技）教師と一緒に自分の頑張ったことを振り返ることができる。 （思判表力）教師と一緒に身振りや簡単な言葉で2学期に頑張ったことを表現することができる。 （学・人）教師と一緒にがんばったことをみんなに伝えようすることができる。 ②（知及技）教師と一緒に話し合いを行い、計画を立てることができる。 （思判表力）教師と一緒に楽しみ会の内容を選ぶことができる。 （学・人）教師と一緒に友達と関わりながら参加しようすることができる。 ③（知及技）教師と一緒に学習発表会での内容を視覚的に確認し、思い出することができる。 （思判表力）教師と一緒に学習発表会の振り返りを行い、簡単な言葉や身振りで感想発表をすることができる。 （学・人）教師と一緒に振り返り活動に参加しようとする態度をもつことができる。	①（知・技）教師と一緒に2学期に頑張ったことを振り返ることができる。 （思・判・表）教師と一緒に身振りや簡単な言葉で2学期に頑張ったことを表している。 （主学）教師と一緒にがんばったことをみんなに伝えようとしている。 ②（知・技）教師と一緒に話し合いについて話し合い、計画を立てることができる。 （思・判・表）教師と一緒に楽しみ会の内容を選んでいる。 （主学）教師と一緒に友達と関わりながら参加しようとしている。 ③（知・技）教師と一緒に学習発表会での内容を視覚的に確認し、思い出している。 （思・判・表）教師と一緒に学習発表会の振り返りを行い、簡単な言葉や身振りで感想発表をしている。 （主学）教師と一緒に振り返り活動に参加しようとしている。	①2学期頑張った会 （1） ・個人目標振り返り ②お楽しみ会を計画しよう（1） ・遊び大会やクッキング ③学習発表会事後学習 ここからわーく エイズデー（感染症予防、咳エチケット、手洗い）	①個人目標の振り返り。 キャリアパスポート活用。 2学期頑張った会で発表する。 ②話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する。 ③取り組んだことを振り返り、印象に残ったことを発表する。	○国 A・聞く・話す 「役割をもって伝えよう」「話し合いをしよう」 B・書く 「文をかこう」 ○算 A・数量の基礎 「「かさ」をはかるう」 C・測定 「時計の読み方」 ○音 A・表現 「音楽に合わせて身体を動かそう」 ○生 ウ・日課・予定 「・予定を考えた毎日の生活」 キ・手伝い・仕事 「・自分から進んで係活動しよう」 ア・基本的生活習慣 「・自分からやってみよう」

3 学 期	1 月	3	①（知・技）教師と一緒に3学期の学習内容についての話を聞き、できるだけ自分で考え、見通しを持つことができる。 （思・判・表）教師と一緒に3学期に頑張りたいことを選ぶことができる。 （学・人）教師と一緒に自分なりにめあてを持ち、期待感をもって取り組むことができる。 ②（知・技）教師と一緒に火災が起こった場合の避難の仕方について知ることができる。 （思・判・表）教師と一緒に煙を吸わないように避難する練習をしたり、「おはしもち」が表す言葉を簡単な言葉や身振りで表現することができる。 （学・人）教師の話を聞きながら、安全に避難することができる。	①（知・技）3学期の学習や行事について見通しをもっている。 （思・判・表）教師と一緒に3学期に頑張りたいことを選んでいる。 （主学）教師と一緒に自分なりにめあてを持ち、期待感をもって取り組もうとしている。 ②（知・技）教師と一緒に火災が起こった場合の避難の仕方について知っている。 （思・判・表）教師と一緒に煙を吸わないように避難する練習をしたり、「おはしもち」が表す言葉を簡単な言葉や身振りで表現している。 （主学）教師の話を聞きながら、安全に避難しようとしている。	①3学期頑張ろう会（1） ・3学期の学習、行事について知ろう ②火災避難訓練（1） ・事後学習	①3学期頑張ろう会で3学期の行事や学習についての話を聞く。 ②煙を吸わないように避難する練習をしたり、「お・は・し・も・ち」について確認したりする。	○国 A・聞く・話す 「昔話」 B・書く 「カタカナのリズムを感じよう」 C・読む 「標識を読んでみよう」 ○算 A・数量の基礎 「位置を表す言葉」 A・数の計算 「しらべよう」 ○音 A・表現 「いろいろな声で表現して遊ぼう」 ○生 イ・安全 「安全について考えてみよう」 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 ア・基本的な生活習慣 「自分からやってみよう」 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 カ・役割 「自分の役割に取り組もう」
	2 月	4	①（知・技）教師と一緒に児童会役員の心得などを知り、児童会への関心を高める。 （思・判・表）教師と一緒に児童会役員として頑張りたい人を選ぶことができる。 （学・人）教師と一緒に児童会選挙の活動を見て、自分から感じたことを伝えることができる。	①（知・技）教師と一緒に児童会役員の心得などについて知っている。 （思・判・表）教師と一緒に児童会役員として頑張りたい人を選んでいる。 （主学）教師と一緒に児童会選挙の活動を見て、自分から感じたことを伝えようとしている。	①児童会選挙（1） ・事前 ・児童会引き継ぎ式、任命式	①児童会役員選挙について	○国語 A・聞く・話す 「げきしよう」 B・書く 「推敲して発表しよう」 ○算 A・数量の基礎 「絵や表にして計算しよう」 ○音 A・表現 「言葉のリズムで遊ぼう」 ○生 ウ・日課・予定 「予定を考えた毎日の生活」 オ・人との関わり 「いろいろな人に気持ちを伝えよう」 ○図 A・表現 「作ってみよう」

	3月	2	①（知・技）教師と一緒にめあてをもち、取り組むことができる。 （思判表力）教師と一緒に今まで関わってきた先生達に簡単な言葉や身振りで感謝の気持ちを表現することができる。 （学・人）教師と一緒に感謝の気持ちをもって会に参加することができる。 ②（知・技）教師と一緒に1年間で自分の頑張ったことを振り返ることができる。 （思判表力）教師と一緒に身振りや簡単な言葉で1年間で頑張ったことを表現することができる。 （学・人）教師と一緒にがんばったことをみんなに伝えようとするすることができる。 ③（知・技）教師と一緒に話し合いを行い、計画を立てることができる。 （思判表力）教師と一緒に楽しみ会の内容を選ぶことができる。 （学・人）教師と一緒に友達と関わりながら参加しようとするすることができる。 ④（知・技）教師と一緒に小学校と中学校の違いに気付くことができる。 （思判表力）教師と一緒に中学校生活に向けた願いや目標を考えることができる。 （主学）教師と一緒に中学校進学に向けて希望や目標をもって取り組むことができる。	①（知・技）教師と一緒にめあてをもち、取り組んでいる。 （思・判・表）教師と一緒に今まで関わってきた先生達に簡単な言葉や身振りで感謝の気持ちを表現している。 （主学）教師と一緒に感謝の気持ちをもって会に参加しようとしている。 ②（知・技）教師と一緒に1年間で自分の頑張ったことを振り返っている。 （思・判・表）教師と一緒に身振りや簡単な言葉で1年間で頑張ったことを表現している。 （主学）教師と一緒にがんばったことをみんなに伝えようとしている。 ③（知・技）教師と一緒に楽しみ会について話し合い、計画を立てることができる。 （思・判・表）教師と一緒に楽しみ会の内容を選んでいる。 （主学）教師と一緒に友達と関わりながら参加しようとしている。 ④（知・技）教師と一緒に小学校と中学校の違いに気付いている。 （思・判・表）教師と一緒に中学校生活に向けた願いや目標を考えている。 （主学）教師と一緒に中学校進学に向けて希望や目標を持って取り組んでいる。	① 6年生を送る会 ・会に参加する ② 1年間を振り返ろう （1） ・1年間の振り返る ・個人目標振り返り ③ お楽しみ会を計画しよう（1） ・遊び大会やクッキング ④ もうすぐ中学生 ・中学生になったの目標を決める。 （1）	① 送る会の内容や係分担について話し合い、めあてをもって活動する。 ・今まで関わってきた先生達に感謝の気持ちを伝える。 ② 個人目標の振り返り。キャリアパスポート活用 ・6年生頑張った会に参加し1年間で頑張ったことを発表する。 ③ 話し合いの進め方を確認する。 ・楽しみ会を計画、立案し、友達と協力して活動する ④ 小学校と中学校生活の違いを知る ・小学校生活を振り返って自己評価を行うことで自分の成長に気づき、中学校生活に向けた願いや目標を考える。 ・卒業式に向けて気持ちを高め、自分なりのめあてをもつ。	○国 A・聞く・話す 「げきをしよう」 B・書く「推敲して発表しよう」 ○算 A・数量の基礎 「記録しよう」 A・数の計算「絵や表にして計算しよう」 ○音 A・表現 「声を合わせて歌おう、表現しよう」 ○生 ウ・日課・予定 「・予定を考えた毎日の生活」 キ・手伝い・仕事 「・自分から進んで係活動をしよう」 力・役割「・自分の役割に取り組もう」 ア・基本的生活習慣 「・自分からやってみよう」
留意点 引継等							
評価方法			・授業に対する取り組み姿勢 ・理解度 ・行動観察				